

第八十二回帝國議會
衆議院

臨時利得稅法中改正法律案外十一件委員會會議錄(速記)第二回

昭和十八年二月二日(火曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松村 光三君

理事小泉 純也君 理事河野 密君

理事永野 護君 理事藤本 拾助君

小野 義一君 小野 秀一君

川崎末五郎君 勝 正憲君

木村 正義君 九鬼 紋七君

小林 絹治君 紅露 昭君

駒井 重次君 坂本宗太郎君

坂下仙一郎君 田下 政治君

中村三之丞君 中島彌圓次君

原口 純允君 橋本 祐幸君

一松 定吉君 古河和一郎君

松岡 秀夫君 松永 壽雄君

前田 善治君 正木 清君

山中 義貞君 渡邊善十郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏書記官 子爵戶田 忠肅君

大藏書記官 池田 勇人君

大藏書記官 平田敬一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

酒稅法中改正法律案(政府提出)

酒造組合法中改正法律案(政府提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法中改正法律案(政府提出)

遊興飲食稅法中改正法律案(政府提出)

入場稅法中改正法律案(政府提出)

特別行爲稅法案(政府提出)

付金交付ノ停止等ニ關スル法律案(政府提出)

○松村委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本委員會ニ付セラレタル議案ハ、臨時利得稅法中改正法律案外十一件デアリマス、是等ニ關シマシテ先ヅ政府ヨリ提案理由ノ說明ヲ聽取致シタイト存ジマス——大藏大臣

○賀屋國務大臣 本委員會ニ付託ナリマシタ稅法中改正等法律案十二件ノ法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ說明致シタイト存ジマス、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ如ク、政府ハ財政需要ノ増加ニ備フルト共ニ、増稅ガ國民經濟及ビ國民生活ニ及ボス影響等ニ付キ慎重考究ヲ遂ゲマシタ上、現下ニ於ケル經濟諸情勢ニ照シ、臨時軍事費追加豫算ノ財源ノ一部ニ充ツル爲メ、此ノ際間接稅ヲ中心トスル增稅ヲ行フノ要アリト認メマシテ、之ニ關スル法律案ヲ本議會ニ提出致シタ次第デアリマス

先ヅ今次增稅案ノ作成ニ當リマシテハ、消費ノ節約、購買力ノ吸收ヲ圖ルト共ニ、國庫收入ヲ増加シテ戰時財政ノ強化ニ資スル見地ヨリ、決戰下ニ於ケル國民生活ノ確保及ビ國民負擔力ノ關係等ヲ考慮致シマシテ、奢侈的消費ニ對シテハ特ニ高率ノ課稅ヲナスト共ニ、決戰下トシテハ尙ホ節約可能ナリト認メラルル方面ノ消費ニ對スル課稅ニ付キ、稅率ヲ引上ゲ又ハ課稅範圍ヲ擴張スル爲メ、酒稅其ノ他ノ間接稅ニ付キ改正ヲ行ヒ、又特別行爲稅ヲモ同様ノ趣旨ニ依ツテ創設スルコトニ致シタノデアリマス、是ト同時ニ現下ノ情勢ニ顧ミ、一部産業ノ編成替、資金ノ蓄積其ノ他戰時下ニ於テ緊要ナル諸政策ノ圓滑ナル遂行ニ資シマス爲メ、適當ト認ムル租稅上ノ措置ヲ講ズル等ノ必要上臨時租稅措置法ヲ改正スルコトト致シタノデアリマス

次ニ今回ノ增稅案ニ付キマシテ、其ノ内

付託議案

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第一〇號)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第一一號)

酒稅法中改正法律案(政府提出)(第一二號)

酒造組合法中改正法律案(政府提出)(第一三號)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)(第一四號)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)(第一五號)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第一六號)

物品稅法中改正法律案(政府提出)(第一七號)

遊興飲食稅法中改正法律案(政府提出)(第一八號)

入場稅法中改正法律案(政府提出)(第一九號)

特別行爲稅法案(政府提出)(第二〇號)

輸出スル物品ニ對スル內國稅免除又ハ交付金交付ノ停止等ニ關スル法律案(政府提出)(第二一號)

容ヲ説明致シタイト存ジマス、先ヅ酒稅デアリマスルガ、酒稅ニ付キマシテハ、主トシテ庫出稅ノ引上ヲ行ヒ、總稅額ニ於テ大體十割程度ノ増徴ヲ行フコトヲ致シタノデアリマス、酒類中消費高ノ最モ多イ清酒ニ付テ申シマスレバ、今回ノ改正案ニ於テハ、一率ニ増徴ヲ行フコトヲ避ケマシテ、清酒ヲ其ノ品質等ニ應ジ、第一級酒乃至第四級酒ノ四階級ニ區分致シ、品質ノ特ニ優良ナル第一級酒ニ付テハ、庫出稅ヲ一石ニ付キ三百六十二圓ダケ引上ゲマシテ、現在ノ造石稅ト合シマシテ、一石ニ付テ現在百五十三圓デアリマスルノ五百十五圓ト致シマシタ、第二級酒、第三級酒及ビ第四級酒ニ付テモ庫出稅ヲ引上ゲマシテ、現在造石稅、庫出稅ト合シテ百圓デアリマスルノヲ、第二級酒三百四十圓、第三級酒二百十圓、第四級酒二百圓ト致シタノデアリマス、其ノ結果、清酒ノ小賣價格ハ、第一級酒ハ一升ニ付キ大體七圓程度トナリマス、第二級酒ハ五圓程度ニナリマス、第三級酒ハ三圓五十錢程度トナリ、第四級酒ハ三圓三十錢程度ト相成ル見込デアリマス、又清酒ト共ニ一般の消費ニ充テラレテ居リマスル合成清酒ニ付キマシテモ、清酒ノ引上ニ準ジマシテ、相當程度ノ増徴ヲ行フコトヲ致シタノデアリマス、
「ビール」ニ付キマシテハ庫出稅ノ稅率ヲ、現行一石ニ付キ八十七圓八十錢デアリマスルノ百七十七圓八十錢ニ引上ゲマシタ結果、普通壘一本小賣價格五十八錢デアリマスルノガ、大體九十錢程度ト相成ルコトト存ジテ居リマス

其ノ他味淋、燒酎、雜酒等ニ付キマシテモ、必要ニ應ジ品質等ニ依リ差等ヲ設ケナガラ、清酒トノ權衡ヲ保持スルヤウニ、主

トシテ庫出稅ニ付テ適當ト認ムル稅率ノ引上ヲ行フコトヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ生産力擴充關係ノ産業、其ノ他ノ重要ノ産業ニ從事スル勞務者ニ對シマシテハ、清酒、合成清酒、燒酎及ビ「ビール」ノ若干數量ヲ限リマシテ、低廉ナル價格ヲ以テ供給致シマスル爲メ、特ニ稅率ヲ引上ゲザルコトヲ致シタノデアリマス、尙ホ今回ノ増稅ノ施行ノ萬全ヲ期シマス爲メ、酒稅法ニ付キ必要ナル改正ヲ行フコトヲ致シテ居リマス

次ニ酒造組合法デアリマスルガ、酒類ノ生産及ビ配給ニ付テハ、現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ、其ノ統制ヲ強化スルノ必要ガ認メラレマスルノデ、酒造組合法ヲ酒類業團體法ニ改ムルト共ニ、其ノ内容ニ付キ適當ナル改正ヲ行フコトヲ致シタノデアリマス、其ノ第一ハ清酒、味淋、燒酎等ノ製造者ニ付テハ、從來ヨリ酒造組合ヲ設ケテ居ルノデアリマスルガ、今回更ニ合成清酒、「ビール」、雜酒等ノ總テノ酒類製造者ニ對シ、ソレノ酒造組合ヲ設置セシムルト共ニ、組合ノ統制機能ヲ擴充スル爲メ、組合ノ設立、統制ノ實行等ニ關スル規定ヲ整備スルコトヲ致シタノデアリマス、第二ハ生産ト極メテ密接ナル關係ニ立チマスル配給部門ニ於キマシテモ、今後ノ必要ニ應ズル爲メ、酒類販賣業者ノ團體ヲ系統的ニ整備確立セシムルト共ニ、是等ノ團體ヲシテ、酒類ノ配給統制ニ關スル機能ヲ擴充強化セシムル爲メ、酒造組合ニ於ケルト同様、設立統制ノ實行等ニ關スル規定ヲ整備スルコトヲ致シタノデアリマス

次ニ清涼飲料稅ニ付キマシテハ、其ノ消費ノ性質及ビ酒類トノ權衡ヲモ考慮致シマシテ、總稅額ニ於テ十割程度ノ増徴ヲ行フコトヲ致シ、増徴ノ割合ハ、第一種玉「ラムネ」ニ輕ク、第三種「ソーダ」水等ニ重ク致シテ居リマス、即チ第二種「サイダー」等ニ付キマシテハ一石ニ付キ三十五圓、第三種「ソーダ」水ニ付キマシテハ、炭酸瓦斯一「キログラム」ニ付キマシテ十四圓ノ増徴ヲ行フコトヲ致シテ居リマス、之ニ依リ「サイダー」普通壘、一本ノ小賣價格二十二錢ノモノハ、砂糖消費稅ノ増徴ト合セマシテ、三十錢程度トナル見込デアリマス

トト致シ、増徴ノ割合ハ、第一種玉「ラムネ」ニ輕ク、第三種「ソーダ」水等ニ重ク致シテ居リマス、即チ第二種「サイダー」等ニ付キマシテハ一石ニ付キ三十五圓、第三種「ソーダ」水ニ付キマシテハ、炭酸瓦斯一「キログラム」ニ付キマシテ十四圓ノ増徴ヲ行フコトヲ致シテ居リマス、之ニ依リ「サイダー」普通壘、一本ノ小賣價格二十二錢ノモノハ、砂糖消費稅ノ増徴ト合セマシテ、三十錢程度トナル見込デアリマス

別消費稅ヲ附加シテ課稅スルコトヲ致シタノデアリマス、以上ノ改正ニ依リ、砂糖消費稅ニ付キマシテハ、總稅額ニ於テ大體七割程度ノ增收ト相成ル見込デアリマス
次ニ物品稅ニ付テ申シマスレバ、物品稅ノ中第一種及ビ第二種ハ、御承知ノ如ク奢侈の性質ヲ有スル物品竝ニ國民生活上比較的不急ト認メラレ、又ハ其ノ消費ガ負擔力ヲ示スト認メラルル物品ニ付キ、廣ク課稅スルモノデアリマス、今回ノ増稅ニ於キマシテハ、奢侈の性質特ニ濃厚ト認メラルル甲類ノ物品ニ付テハ、現行稅率百分ノ五十ヲ百分ノ八十二ニ引上ゲ、其ノ他ニ付テハ乙類ノ現行稅率百分ノ二十ヲ百分ノ三十ト致シ、丙類ニ付テハ第一種ニ於テハ現行稅率百分ノ十ヲ據置キ、第二種ニ於テハ現行稅率百分ノ十ヲ原則トシテ百分ノ二十二ニ引上グルコトヲ致シマシタガ、一部ノモノハ新タニ丁類トシテ百分ノ十ニ據置クコトヲ致シタノデアリマス、又第一種乙類ノ物品中、織物、家具、書畫骨董等ニシテ相當高價ナル物ニ付テハ稅率ヲ特ニ百分ノ六十トシ、他ノ乙類ノ物品ヨリモ重課スルコトヲ致シタノデアリマス、他面現行ノ課稅最低限ヲ或ル程度引下グルト共ニ、課稅物品ノ擴張ヲ行ヒ、「バター」、「チーズ」幻燈機、罐詰、罐詰箱詰等ノ食料品、靴塗料類、滋養強壯劑等ニ對シ新タニ課稅スルコトヲ致シタノデアリマス、物品稅中第三種ニ付キマシテハ、先ヅ「マッチ」ニ付テハ現行稅率千本ニ付キ十錢ヲ十五錢ニ引上ゲマシタ外、砂糖トノ權衡ヲ考慮致シマシテ、飴等ニ付テハ百斤ニ付キ二十圓五十錢「サッカリ」ニ付テハ「キログラム」ニ付キ十圓ノ増徴ヲ行フト共ニ、新タニ蜂蜜ニ對シ百斤ニ付キ五

次ニ砂糖消費稅ニ付キマシテハ、第一ニ一般の増徴トシテハ、他ノ消費稅ニ比較シテ輕ク致シマシテ、總稅額ニ於テ大體二割程度ノ増徴ヲ行フコトヲ致シタノデアリマス、第二種乙即チ普通ノ白砂糖ニ付キマシテハ、現行百斤ニ付キ十二圓ノ稅率ヲ十四圓五十錢ニ引上ゲマシタ、其ノ他ノ砂糖、糖水及ビ糖蜜ニ付キマシテモソレノ適當ニ稅率ノ引上ヲ行ツテ居ルノデアリマス、右ノ引上ニ依リ、家庭用ノ白砂糖一斤三十錢五厘デアリマスルノガ三十三錢程度トナル見込デアリマス、第二ニ料理店、旅館業等ノ業務用、菓子其ノ他ノ製造加工用ノ砂糖等ニ付キマシテハ、其ノ消費ノ性質ニ顧ミマシテ、家庭用等ノ砂糖トハ區別ヲ致シ、或ル程度負擔ヲ加重スルヲ適當ト認メマシテ、一般消費稅ノ外、更ニ白砂糖其ノ他上級ノ砂糖等ニ付テハ百斤ニ付キ十圓、其ノ他ニ付テハ百斤ニ付キ五圓ノ稅率ヲ以テ特

別消費稅ヲ附加シテ課稅スルコトヲ致シタノデアリマス、以上ノ改正ニ依リ、砂糖消費稅ニ付キマシテハ、總稅額ニ於テ大體七割程度ノ增收ト相成ル見込デアリマス
次ニ物品稅ニ付テ申シマスレバ、物品稅ノ中第一種及ビ第二種ハ、御承知ノ如ク奢侈の性質ヲ有スル物品竝ニ國民生活上比較的不急ト認メラレ、又ハ其ノ消費ガ負擔力ヲ示スト認メラルル物品ニ付キ、廣ク課稅スルモノデアリマス、今回ノ増稅ニ於キマシテハ、奢侈の性質特ニ濃厚ト認メラルル甲類ノ物品ニ付テハ、現行稅率百分ノ五十ヲ百分ノ八十二ニ引上ゲ、其ノ他ニ付テハ乙類ノ現行稅率百分ノ二十ヲ百分ノ三十ト致シ、丙類ニ付テハ第一種ニ於テハ現行稅率百分ノ十ヲ據置キ、第二種ニ於テハ現行稅率百分ノ十ヲ原則トシテ百分ノ二十二ニ引上グルコトヲ致シマシタガ、一部ノモノハ新タニ丁類トシテ百分ノ十ニ據置クコトヲ致シタノデアリマス、又第一種乙類ノ物品中、織物、家具、書畫骨董等ニシテ相當高價ナル物ニ付テハ稅率ヲ特ニ百分ノ六十トシ、他ノ乙類ノ物品ヨリモ重課スルコトヲ致シタノデアリマス、他面現行ノ課稅最低限ヲ或ル程度引下グルト共ニ、課稅物品ノ擴張ヲ行ヒ、「バター」、「チーズ」幻燈機、罐詰、罐詰箱詰等ノ食料品、靴塗料類、滋養強壯劑等ニ對シ新タニ課稅スルコトヲ致シタノデアリマス、物品稅中第三種ニ付キマシテハ、先ヅ「マッチ」ニ付テハ現行稅率千本ニ付キ十錢ヲ十五錢ニ引上ゲマシタ外、砂糖トノ權衡ヲ考慮致シマシテ、飴等ニ付テハ百斤ニ付キ二十圓五十錢「サッカリ」ニ付テハ「キログラム」ニ付キ十圓ノ増徴ヲ行フト共ニ、新タニ蜂蜜ニ對シ百斤ニ付キ五

圓ノ稅率ヲ以テ課稅スルコト致シタノデアリマス、以上ノ結果、物品稅ハ總稅額ニ於テ大體八割程度ノ増加ヲ來ス見込デアリマス

次ニ遊興飲食稅ニ付キマシテハ、今次増稅ノ趣旨ニ願ミ相當大幅ノ増稅ヲ行フコトト致シマシタ、即チ藝妓ノ花代ニ付テハ現行稅率百分ノ百ヲ百分ノ二百ニ引上げ、其ノ他ノ花代並ニ花代以外ノ料金ニ付テモ相當ノ増徴ヲ致ス案ニ相成ツテ居リマス、普通ノ飲食ノ料金ニ付テハ、一圓五十錢ト云フ課稅最低限ハ之ヲ据置キ變更致シマセヌガ、其ノ稅率ハ現在百分ノ二十又ハ三十デアリマスノヲ百分ノ三十乃至五十ニ引上グルコトト致シテ居ルデアリマス、又是ト共ニ宿泊ノ料金ニ對スル課稅最低限ハ、現在食事代ヲ除キ五圓トナツテ居リマスガ、之ヲ引下ゲテ三圓トスル等課稅最低限ヲ引下ゲ、其ノ他仕出料理ニ課稅スル等課稅範圍ノ擴張ヲ行フコトト致シマシタ、以上ノ増徴ニ依リ遊興飲食稅ハ總稅額ニ於テ大體七割程度ノ増加トナル見込デアリマス

入場稅ニ付キマシテハ、第一種即チ映畫館、劇場等ニ付キマシテハ、課稅最低限ノ引下ゲハ之ヲ行ハナイコトト致シマシタ、又入場料ガ五十錢未滿ノモノニ付キマシテモ特ニ稅率ヲ据置イタノデアリマス、五十錢以上ノモノニ付テハ現行稅率百分ノ三十乃至百分ノ八十ヲ百分ノ四十乃至百分ノ百二十ト致シ、其ノ他ノモノ及ビ特別入場稅ニ付テモ適當ニ増徴スルコトト致シタノデアリマス、尙ホ本稅施行ノ實情ニ願ミ本稅ヲ間接稅ノ形式ニ改ムルコトト致シ、之ニ必要ナル改正ヲ行フコトト致シタノデアリマス

次ニ從來外國ニ輸出スル物品及ビ内地、

臺灣、樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ニ付テハ內國稅ヲ免除シ、又ハ交付金ヲ交付シテ參ツタノデアリマスルガ、現下ニ於ケル交易情勢及ビ行政ノ簡素化等ヲ考慮致シマシテ之ヲ停止又ハ廢止スルコトト致シタノデアリマス

次ニ新稅ト致シマシテハ特別行爲稅ヲ創設スルコトト致シタノデアリマス、特別行爲稅ハ寫眞ノ撮影、整髮美容、織物衣類ノ染色仕立、書畫ノ表裝、印刷、製本等ニ付テハ、其ノ消費ノ性質ニ鑑ミ、他ノ消費稅トノ權衡上此ノ際或ル程度ノ負擔ヲナサシムルヲ適當ト認メマスルノミナラズ、之ニ課稅スルコトニ依リ消費ノ節約、購買力ノ吸收ニモ資シ得ルトノ見地カラ、印刷、製本ニ付テハ百分ノ二十、其ノ他ニ付テハ百分ノ三十ノ稅率ヲ以テ課稅セントスルノデアリマス、尤モ寫眞ノ撮影ニ付キマシテハ一組一圓五十錢、整髮美容ハ一回一圓、染色刺繡ニ付テハ一件五圓又ハ十圓、仕立ニ付テハ三圓乃至二十五圓程度等ノソレノ適當ト認ムル課稅最低限ヲ設クルコトト致シテ居リマス、

以上述べマシタ如ク、今回ハ主トシテ間接稅ヲ中心トスル増稅デアリマシテ、直接稅ニ付キマシテハ昨年ニ於テ相當大幅ノ増稅ヲナシマシタコトトモアリマス、ルノデ、戰時國民生活諸般ノ様相等ヲ種々考慮致シマシタ結果、今回ハ是ガ増徴ヲ見合ハセルコトト致シタノデアリマス、臨時利得稅ニ付キマシテハ適當ト認ムル改正ヲ若干行ツテ居ルノデアリマス、即チ臨時利得稅ニ付キマシテハ、第一ニ、從來法人ニ付テハ昭和十一年以前三年以内ニ終了シタ事業年度ノ平均利益率ヲ基準利益率ト致シマシテ、資本ノ百分ノ十ヲ超エ基準利益率以下ノ分ニ付テハ稅率ヲ百分ノ三十五ト致シテ

居ルノデアリマス、併シナガラ基準年度ヨリ既ニ相當年數ヲ經過シタ爲ニ、之ヲ基準トスルコトガ必ズシモ適當デナイノミナラズ、現在ニ於テモ其ノ適用ニ付キ種々制限ヲ設ケテ、既ニ實益ガ少クナツテ居リマスル關係上、課稅手續ノ簡易化ヲモ考慮致シマシテ、今回之ヲ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、第二ニ個人ノ營業者ニシテ利益金額少額デアル者ニ對シマシテハ、施行ノ實情ニ鑑ミ、負擔緩和ノ規定ヲ設クルコトト致シタノデアリマス

次ニ臨時租稅措置法ノ改正ニ付キ説明ヲ致シマス、其ノ改正ノ第一ハ、時局下愈々緊切ナリト認メラル一部産業ノ編成替ニ關スルモノデアリマス、時局ノ要請ニ依リ企業ノ合同、整理ノ場合ニ於キマシテハ、現在法人稅、所得稅、營業稅及ビ登錄稅ヲ輕減又ハ免除シテ居ルノデアリマスガ、最近ニ於ケル企業合同ノ進捗ノ狀況ニ顧ミマシテ、右ノ輕減免除ノ期間ヲ一年間延長スルコトト致シテ居リマス、尙ホ右ノ企業合同ノ場合ニ於テ、營業ヲ廢止シタ者ノ受ケル補償金ニ付キマシテ所得稅ヲ輕減又ハ免除致スコトトナシ、又事業ノ統制ノ必要上、不動産、礦業權等ヲ讓渡シタ者ニ對シマシテモ、讓渡利得ノ計算ニ付キ特例ヲ設クルコトト致シタノデアリマス、第二ハ最近ニ於ケル經濟狀況ヨリ見マスル時ハ、個人ノ營業利益ガ各種ノ事情ニ依リ相當急激ニ變動スルヲ免レ難イノデアリマス、此ノ場合ニ於テ前年ノ實績ニ依リ所得稅、營業稅等ヲ課稅致シマスルコトハ、其ノ負擔ガ相當困難ナル場合ガ豫想セラレマス、營業利益ガ著シク減少シタ者ニ對シ所得稅、營業稅等ヲ或ル程度輕減スルコトト致シタノデアリマス、第

三ハ法人ガ額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シタ場合ニ於ケル額面超過金額ニ對シマシテハ、企業基礎ノ強化、資金ノ蓄積等ノ見地ヨリ或ル程度負擔ヲ輕減スルヲ適當ト認メマシテ、課稅上ノ特例ヲ設クルコトト致シタノデアリマス、第四ハ事業ノ統制ノ必要上、設備其ノ他ヲ讓渡シタ法人ガ、時局ノ要請ニ應ジ行政官廳ノ指導轉旋ニ依リマシテ解散ヲシナイ場合ニ於テハ、事情ニ依ツテ或ル程度負擔ヲ緩和スルノ必要ガ豫想セラレマス、此ノ場合ニ於テハ法人稅、營業稅等ヲ輕減シ得ル途ヲ開イタノデアリマス、尙ホ以上ノ外木材又ハ薪炭ノ増產ノ必要上山林ヲ増伐シタル者、礦業權ノ使用權者ニ付キマシテモ或ル程度所得稅等ヲ輕減スル等、現下緊要ナル諸政策トノ調和ヲ圖リマスル爲メ必要ト認ムル各種ノ租稅上ノ措置ヲ講ズルコトト致シタノデアリマス

以上今次増稅等ニ關スル法律案ノ概要ヲ申上ゲタノデアリマス、今回ノ増稅等ニ依リマシテ幾ラノ增收ガアルカト申シマスルニ、平年度ニ於キマシテ酒稅ニ於テ四億千四十餘萬圓、清涼飲料稅ニ於テ千二百二十餘萬圓、砂糖消費稅ニ於テ七千九百餘萬圓、物品稅ニ於テ二億八千四百四十餘萬圓、遊興飲食稅ニ於テ二億七千七百七十餘萬圓、入場稅ニ於テ千二百八十餘萬圓、特別行爲稅ニ於テ七千五百五十餘萬圓、骨牌稅ニ係ル印紙收入三百餘萬圓、臨時利得稅五千二百八十餘萬圓ヲソレノ増加致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ所得稅、法人稅、取引所稅等ニ於キマシテ合計五千三百八十餘萬圓ヲ減少致シマス、結局平年度約十一億四千五百萬圓ノ增收デアリマス、初年度デアリマス昭和十八年度ニ於テ約十億

七百萬圓ノ增收トナル見込デアリマス、此ノ十八年度ノ增收額ハ、臨時軍事費追加豫算ノ財源トシテ一般會計ヨリ同特別會計ニ繰入ルコトト致シテ居ルノデアリマス

最後ニ遊興飲食稅法中改正法律案ノ附則ニ規定シテ居リマス地方分與稅法中一部改正ニ付キ御説明申上ゲマス、御承知ノ如ク地方分與稅中配付稅ハ所得稅、法人稅、入場稅及ビ遊興飲食稅ノ一部ヲ以テスルコトト相成ツテ居リ、其ノ割合ヲ法定致シテアリマス關係上、今回ノ遊興飲食稅及ビ入場稅ノ増徴等ニ伴ヒ、ソレ等配付稅ノ基本タル國稅ニ異動ヲ來シマスノデ、之ニ付テハ現行法ニ依ル程度ノ額ヲ維持スルコトヲ目安ト致シマシテ、尙ホ地方團體ニ於ケル新規負擔ノ財源充足ノ爲メ配付稅ヲ若干増額スルコトトナシ、ソレノ配付稅ノ割合ニ付キ必要ナル改正ヲ加ヘントスル次第デアリマス

以上稅制ノ改正等ニ關スル法律案ニ付キ一括説明ヲ致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御賛成下サレシコトヲ希望致シマス

○松村委員長 御諮リ致シマス、大藏次官ハ直チニ出席ノ豫定デアリ、主稅局長モ貴族院カラ直チニ參ラレル豫定デアリマス、隨テ質疑ヲ續行致シタイト考ヘマスガ、如何デスカ

〔異議ナシト「呼ブ者アリ」〕

○松村委員長 ソレデハ續行致シマス、尙ホ大藏大臣ハ午後ハ出ラレル豫定デアリマスノデ、大藏大臣ガ出席セラレタナラバ、午後モ引續キ質疑ヲ致シタイト考ヘテ居リマスノデ、左様御諒承ヲ願ヒマス、此ノ際資料ノ要求ガゴザイマシタナラバドウカ……

○河野(密)委員 資料ハ一々讀上グルコト

ヲ避ケマシテ、書面ニシテ提出シタイト思ヒマスカラ宜シク御願ヒ致シマス

○松村委員長 結構デゴザイマス、ソレデハ書面デ提出シテ戴キマシテ、速記録ノ最後ニ參照トシテ留メルコトニ致シマス——ソレデハ大臣ハ午後出席スル豫定デアリマスカラ、大臣ニ關スル質疑ハ午後成ベク一括シマシテ御願ヒ致シマス、大臣ヲ除キマシテ、只今主稅局長ガ見エテ居リマスカラ——小野君

○小野(義)委員 私ハ大藏大臣ニ本會議デ質問致シマシタ其ノ延長ヲ、少シ此處デ分析シタイト思ツテ居ツタデアリマスガ、今御退席ニナリマシタカラ、午後ニ大臣ヘノ質問ヲ致シマス、折角主稅局長ガ御見エデアリマスカラ、一點ダケ私主稅局長ニ伺ヒタイト思ヒマス、先程大臣ノ御説明ニ、十八年度ニ於テ增收ハ十億圓、平年度ハ十一億四千萬圓、此ノ十八年度ニ十億圓ト見込シタノハ、何時カラ此ノ改正稅法ヲ施行スルト云フ見地デ算盤ヲ出サレタノデアリマスカ、坊間傳フル所ニ依リマスト云フト、先ヅ二月二十日頃ニハ議會ガ終ルガラウ、サウシタラ直チニ實施スルノデハナイカ、サウナレバ平年度ト同ジヤウナ增收ガ得ラレルヤウニ思フノデスガ、ヤハリ是ハ四月カラト云フコトヲ豫期サレテ居ルノデアリマスカ尙ホ是ハ事前審査ノ時ニ起ツタ問題デスガ、其ノ時主稅局長ハ御出席デアリマシタカドウカ私忘レマシタガ、專賣局長官ハ確カニ居ラレタ、南君ノ御意見トシテ、煙草ノ値上ヲヤル時ニ、是ハ古い定價デ印刷シテ出シタモノハ其ノ儘消費サレルマデハ、詰リ賣レテシマフマデハ、其ノ儘ノ値段デ据置イタラドウカ、斯ウ云フ質問ガア

ツタヤウデス、所デ實際トシテハ、モウ何時デモ値上ハ大藏省令ノ改正デ即刻ニヤルノデアリマス、ソコデ他ノ間接稅——他ノ間接稅ト云フト、煙草ナンカハ專賣ヂヤナイカト云フ形式論ハアリマスケレドモ、實ハ實質上ハ間接稅デアリマスカラ、煙草ト酒ナンカトノ權衡ガ得ラレナイノデス、是ハ當然ノコトデアリマスケレドモ、ソコカラ考ヘテ、南君ノアノ御發言ハ私非常ニ意味ガアルト思ツタノデス、サウナレバ、他ノ間接稅トノ均衡モ相當得ラレルヤウニ思フ、普通ノ間接稅ハ議會ノ協賛ヲ經テ、斯ウ云フ工合ニ委員會ヲ開イテ審議シテ、漸ク實施スルノデアリマスガ、煙草ノ方ハ直グニヤル、ソコデ非常ナ買占、賣惜ガ行ハレル、アノ時專賣局長官ハ、サウ買占、賣惜ハナイト云フコトデアツタガ、ドウモ實際ハサウデナイヤウデス、相當アツタヤウデス、是ハ非常ニ良クナイコトデアル、此ノ酒ナンカニ付テモ相當買占ガアルト云フコトモ聞キマス、其ノ程度ハ分リマセスケレドモ、併シ是ハドウモ致シ方ハアリマセス、議會ノ協賛ヲ經ナクチヤナラスノデアリマスカラ、併シ議會ノ協賛ヲ經タ以上ハ直グニデモ實施ニナルノデアリマスマイカ、煙草トノ均衡カラ見ルト云フト、モウ二月末或ハ三月初カラ實施スル、サウ云フ方法モ執リ得ルノデアリマスケレドモ、茲ニ十億圓ト見タ以上ハ、ヤハリ來年度ニナツテ來ルヤウニモ思ハレマス、今ノ煙草ノ値上問題ト、此ノ十億圓ノ根據、之ヲ一ツ御説明ヲ願ヒマス

○松隈政府委員 只今御尋ネノ昭和十八年度ニ租稅ノ增收額ヲ見積ツテ居リマスルノハ、四月一日以後ノ分ヲ見積ツテ居ル次第

デゴザイマス 尙ホ煙草トノ關係ニ於キマシテ、間接稅ノ增收ヲ受ケマスルモノガ經過的ニ舊稅率デ安イ負擔デ引取ラレハシナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、稅法ニ於キマシテ其ノ附則ヲ以チマシテ、或ル程度以上ノ「ストック」ヲ持ツテ居リマスレバ、其ノ「ストック」ニ對シテハ課稅スル途ヲ設ケテ居リマス、其ノ場合ニ於テ、非常ニ少イ數量ニマデ課稅スルコトガ、理論的ニハ宜シイノデアリマスガ、ソレハ非常ニ手數ガ煩雜デアリマスルノデ、已ムヲ得ズ或ル數量ヲ限ツテ居リマス、例ハ啤酒デ申シマスルト、改正規定施行ノ際ニ製造場又ハ保税地域以外ノ場所ニ於テ、各酒類ヲ通ジ合計一石以上ノ酒類ヲ所持スル場合ニ於キマシテハ、ソレカラ特別ノ場合ニ於テ一石ニ滿タナイ場合、例ハ合計二斗ノ場合デモ、其ノ課稅ヲスルコトニ致シテ居リマス、其ノ場合ニ於テハ、其ノ製造場若クハ保税地域以外ノ場所デアリニ拘ラズ、稅法施行ノ日ニ於テ其ノ品物ハ製造場又ハ保税地域カラ引取ツタモノトシテ追掛ケテ課稅スルト云フ規定ガ置イデゴザイマス、尙ホ物品稅等ニ付テ申上ゲマシテモ、第二種ノ物品ニ付キマシテハ價格千圓以上ノモノ、「マッチ」デ云ヘバ百本以上ノ「マッチ」、飴デ云ヘバ三千斤以上ノモノ、「サッカリン」デ云ヘバ十「キロ」以上ノモノト云フヤウナ風ニ、稅額デ百圓前後以上ノモノハ稅法施行前ニ引取ツテモ、稅法施行ノ日ニ引取ツタモノトシテ遡ツテ課稅ヲシ得ル途ヲ開イテゴザイマスルノデ、或ル程度マデ見越引取ニ對シマスル遡及課稅ノ方法ハ講ジテアル次第ダト思ヒマス、ソレカラ酒類等ニ付テ幾分見越買ガ行ハレルカトモ思ヒマスガ、御承知ノ通り酒類ノ

ヤウナモノニ付キマシテハ配給計畫ヲ立テテ配ツテ居リマスルノデ、見越買ノ點ハ他ノ物品等ニ比ベルト餘程少イノデハナイカト思ヒマス

○松村(光)委員長 ソレデ宜シウゴザイマスカ——中村三之丞君

○中村(三)委員 只今戴イテ居リマスル租税法規ノ改正等ニ關スル法律案要綱ヲ見マスルト、第四ニ「新ニ特別行爲稅ヲ創設シテ消費ノ抑制、購買力ノ吸收ヲ圖ルコト」ト云フ項目ガアリマス、是ハ今回ノ増稅案ノ中ニ於テ吾々トシテ注目スベキ一ツノ案デアリマス、先ヅ此ノ點ニ付テ局長ニ御伺ヒテ致シマス、特別行爲稅ト云フモノガ新タニ我國稅制ノ中ニ織込マレテ來タ、特別行爲稅ハ稅トシテ如何ナル本質ヲ示スモノデアリマスカ、先ヅ御伺ヒ致シマス

○松隈政府委員 今回新シク設ケマシタ特別行爲稅ハ御話ノ如ク消費ノ節約、購買力ノ吸收ヲ狙ヒマスルト同時ニ、併セテ國庫收入ノ増加ヲ圖ラントスルモノデアリマス、稅ノ分類ノ上カラハ之ヲ間接稅ト致シテ居リマス

○中村(三)委員 私ハ特別行爲稅ト云フモノハ最終段階ニ課セラルル所ノ取引稅デヤナイカト思フ、或ハ他ノ言葉ヲ以テ申シマサルナラバ、一回轉賣上稅ノ性質ヲ有シ、此ノ特別行爲稅ト云フモノガ將來非常ニ伸ビルト云フ茲ニ意圖ヲ持ツテ居ラレ、又其ノ意圖ヲ持ツテ居ルニアラズンバ、茲ニ七千萬圓ノ收入ヲ有スル特別行爲稅ヲ新設セラレマシタル意義ナシト言ハナケレバナリマセヌ、私ハ左様ニ考ヘル

○松隈政府委員 租稅ヲ分ケマシテ、直接稅、間接稅、其ノ他——其ノ他ト云フノハ

流通稅デアリマスガ——ニ分ケルノガ普通デアリマスルガ、直接稅ハ比較的明瞭デアリマスガ、間接稅ト流通稅ノ區分ニ至リマシテハ、其ノ國ノ法制ノ建前、沿革等ニ依ツテモ異ツテ參ル次第デアリマス、我國ニ於キマシテハ物品稅ヲ間接稅ト致シテ扱ツテ居リマス、今回特別行爲稅ヲ設ケタノデアリマスガ、是モ間接稅ト云フ建前ニ致シテ居リマス、外國ニ於キマシテハ御話ノ如ク賣上稅ト云フモノガアリマス、此ノ賣上稅ハ物品ノ流通致シマスル各段階ニ於テ課稅ヲ致シマスル關係上、流通稅ト云フ範疇ニ入レテ説明シテ居ル者ガ多イノデアリマス、デ御承知ノ通り賣上稅ナル稅制ヲ設ケテ居リマスル國ニ於キマシテハ、物品ノ賣上代金デアリマセウト、「サーベイス」賣上代金デアリマセウト、一樣ニ賣上代金ヲ課稅標準トシテ稅ヲ徵收シテ居ルノデアリマス、我國ニ於キマシテハ從來賣上稅ノ制度ヲ探ラズ、物品稅ノ制度ニ依ツテ居リマシタノデ、物品ノ賣上ダケニ課稅シテ居ツタノデアリマスルガ、今回物品ノ賣上トノ權衡上、物品ノ方ハ餘リ使ハナイケレドモ、主トシテ他人ノ勞務ヲ煩ハスト云フ場合ニ於テハ、ヤハリ奢侈的分子ガ相當含マレ、ソコニ擔稅力ガ窺ハレマスルノデ、權衡上課稅シタ方ガ宜シイト云フコトニナツタノデアリマスガ、全體ノ制度ヲ賣上稅ニ改編スルト云フ所マデ至ツテ居リマセヌノデ、別ノ稅法ト致シマシテ特別行爲稅ト云フ法律ニ致シタノデアリマス、ソコデ物品稅モ間接稅ト致シテ居リマスノデ、特別行爲稅法案モヤハリ建前ノ間接稅ト致スコトニ致シタノデ、先程説明申上ゲタヤウナ次第デアリマス、賣上稅ト云フコトニデモ致セバ、或ハ流

通稅ト云フ方ニシテ説明シタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、我が國ノ現在デハ先ヅ間接稅ト申上ゲタ方ガ適當カト思フノデアリマス、是等ノ稅ガ將來ニ非常ニ伸ビテ行ク潛在力ト申シマスカ、サウ云フモノヲ持ツテ居ルカドウカト云フ點ニ付テハ、色々見方モアルト思フノデアリマスガ、或ル程度ハ伸ビルト思ツテ居リマスルガ、サウ非常ニ澤山ノ期待ハ掛ケラレナイカト思ツテ居リマス

○中村(三)委員 法制上竝ニ慣習上物品稅竝ニ特別行爲稅ヲ間接稅ニ入レラレタト云フコトハ稅務當局トシテノ何時モノ御答ヘデアリマス、併シナガラ之ヲ一般稅制論ノ上カラ見マスルナラバ、私達ハ今申シタ解釋ガ出來ルト思フノデアリマス、一體物品稅其ノモノガ釐澤稅、賣上稅、或ハ小賣賣上稅、或ハ製造賣上稅、或ハ生産賣上稅ト云ツテ宜シイ、私共ノ注目スル所ハソコニア

ル、一體物品稅ハ行詰ツテ居ル、成程稅率ヲ百分ノ百、或ハソレ以上上ゲルト云フコトモアリマセウ、或ハ品目ヲ擴大強化スルト云フコトモアリマセウ、或ハ課稅最低限ヲ撤廢シテシマフ、勿論是ハ徵稅上手數ガ掛カルデセウガ、理論上サウ云フヤウナコトモ考ヘ得ラレ、日本ノ稅制、殊ニ此ノ戰爭増稅ニ於テ稅率ト云フモノノ邊ニ持ツテ行クカト云フコトハ頗ル重大問題ニナツテ來タ、又吾々トシテ慎重ニ考ヘナケレバナラス所デアリマスガ、少クモ此ノ特別行爲稅ト云フモノハ物品稅ト相竝ンデ一般取引稅ノ性質ヲ帶ビテ來タト云フ觀察ハ私ハ間違ナカラウト思フ、ソコデ此ノ特別行爲稅ト云フモノハ段階ニ於テ御課ケニナルノデアルカ、元來行爲ト云フモノハ、私ハ此ノ行爲ト云フコトヲ取引ト解釋

スルノデス、先ヅ是カラ一ツ御説明ヲ願ヒタイ

○松隈政府委員 特別行爲稅ハ個々ノ行爲ヲ捉ヘテ課稅スルノデアリマスルガ、其ノ課稅ノ對象ニナリマスル行爲ハ特別行爲稅法ノ第一條ニ列舉シタル行爲デアリマシテ、其ノ行爲ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテ、其ノ行爲ノ依頼ヲ受ケテ代金ヲ受取ル人ガ稅ヲ徵收シテ國ニ拂込ム義務ヲ負フト云フコトニ相成ツテ居リマス

○中村(三)委員 例ヘバ織物、衣類ノ染色、仕立ト云フコトガ茲ニ特別行爲稅ノ對象トシテ掲ゲラレテ居ル、織物、衣類ノ染色、仕立ト云フモノハ相當ノ技術的段階ヲ經テ來ルドラウト私ハ思フ、染色、仕立ノドノ段階ニ於テ御課ケニナルノデスカ、此ノ段階ノ課ケ方ニ依ツテ茲ニ私共ハ議論ガ起ツテ來ルドラウト思フ、即チ流通稅カ間接稅カト云フ議論モサウ云フ所カラ來ルノデアリマシテ、段階ノ仕方ナンデアル、大藏當局ガ一般取引稅ヲ回避セラレテ居ル態度ハ私ハ分ル、ナゼナラバ課稅段階ノ累積性ト云フコトニ付テ中々研究ヲ要スル、當局トシテソレニ向ツテ採用スルニ躊躇ヲスルト云フ、其ノ稅務當局ノ態度ハ私ハ了解セラレルノデアリマスガ、併シ此ノ財源ヲ得ル場合ニ於テハモウソコマデ行カナケレバナリナイ、ト云ツテソレヲ徹底サセルコトハ出來ナイ、或ル程度ニ止ツテ居ルト云フノガ此ノ特別行爲稅ノ現ハレナンデアル、卒直ニ申シマスナラバ、一般取引稅ハヨウヤレナイ、ト云ツテモウ消費課稅ト云フコトガ稅率ガ段々増シテ、或ル程度限界點ニ達シタ、是デハナラヌト云フノデ少々前進シテ現ハレテ來タモノガ此ノ特別行爲稅ト云フ風ニ

私ハ解釋シテ居ルノデアリマスカラ、問題ハ如何ナル取引ノ段階ニ於テ課セラレルノデアリマス、具體的ニ御説明ヲ願ヒタイ

○松隈政府委員 如何ナル取引ノ段階ト云フ御尋ネデアリマス、個々ノ取引ニ於キマシテ稅法ニ規定シテ居ル織物、被服類ノ染色ヲ依頼シ、又ハ被服類等ノ仕立ヲ依頼スルト云フコトデアレバ、其ノ度毎ニ本法ニ該當致シマスルカラ課稅ニナル譯デアリマス、尤モ織物ナリ被服類ナリヲ製品トシテ販賣致シマスル者ガ、其ノ製品ヲ作り上ゲル途中ノ段階ニ於テ染色ヲシ、又ハ仕立ヲ致シマシタ場合ニハ結局其ノ出來上ツタモノヲ販賣致シマスル際ニ物品稅ノ課稅ガアリマスルカラ、サウ云フ製品ノ販賣業者ガ製品ヲ作り上ゲル途中ノ段階ニ於テ致シマスル染色、刺繡、捺染、仕立等ハ特ニ課稅シナイト云フ規定ヲ置イデアリマス、ソレ以外デアリマスレバ、個々ノ行為ガ稅法ニ該當スレバ一々課稅ニナル、例ヘバ私ガ白生地ヲ持ツテ居テ、之ヲ一遍染色ニ出シタトスレバ稅法ニ該當シマスカラ課稅ニナリマス、染色ヲシタモノヲ引取ツテ、更ニ之ニ刺繡ヲシタイト云フ考ヘテ起シテ刺繡ニ出シタト云フコトニナレバ、其ノ刺繡ノ際ニ又課稅ニナリマス、染色、刺繡ガ出來上ツテ、其ノ生地ヲ持ツテ居リマシテ、之ヲ一ツ着物ニ仕立テ見タイト云フノデ仕立屋ニ持ツテ行ツテ仕立テサセルト云フコトニナリマスレバ、是モヤハリ免稅點以上ノ場合デアレバ課稅ニナル、サウ云フ場合ニ於テハ三段階、此ノ稅法ニ該當スル行為ヲシタノデアリカラ三回課稅サレルノハ已ムヲ得ナイコト思ツテ居ルノデアリマス

○中村(三)委員 大體明白ニナリマシタ、ソコデ今例ニ引カレタ點、或ハ織物ナドヲ見マスルト物品稅ト特別行爲稅ト云フモノハ一ツノ繫リヲ持ツテ居ル、又持タサナケレバ稅收ハ得ラレナイト云フコトニナル、今局長ガ仰セラレマシタ三段階ニ課カルト云フ其ノコトガ、私ガ先ニ申上ゲマシタ一般取引稅ノ性質ヲ有スルモノデハナイカト云フコトニナルト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウニオヤリニナツテ來ナケレバ、モウ稅率ヲ上ゲルコトバカリデハハ單純ナモノデス、ソレヨリモ今言ツタ段階ニ於テ自然ニ課カルト行クト云フコト是ガ今日ノ國庫增收ノ上ニ於ケル所ノ——配給段階ニ於ケル累積性ト云フコトハ或ル點ニ於テ缺點ハアリマス、或ル點ニ於テ國庫ノ增收ヲ得ラレルノデアツテ、戰爭増稅ニ於テハココマデ發展シナケレバナラナイト思フノデアリマス、更ニ進ンデ今例示サレテ居リマス寫眞ノ撮影以下、印刷、製本、是以外ニマダ何カアルノデアリマス、大體第一期ノ特別稅ハコトコノ掲ゲラレテ居リマス範圍内デアアルノデスカ

○松隈政府委員 戰時ノ課稅デアリマスカラ、課稅ノ對象ニナリマスル行為ハ法律ヲ以テ明瞭ナラシムル必要ガアルノデアリマシテ、法律ニ一號カラ六號マデ明示シテゴザイマス、隨ヒマシテ之ニ該當シナイ行為ハ課稅ノ範圍外ト云フコトニナリマス

○中村(三)委員 併シ一見シテ是ガ先程申シマシタ伸張力ヲ何處マデ有セシムルカト云フ問題デス、今年ノ如キモ主稅局長ハ、斯ウ云フ言葉ハ餘リ好マシクアリマセスガ、「サービス」ニ課ケルト云フヤウニ新聞等

ニ發表シテ居リマス、サウ云フモノニ課ケルナラバ、例ヘバ周旋料デアルトカ、手數料デアルトカ云フモノニモ當然課カラナケレバナラナイノデアリマセス、ソレヲドウ云フ譯デ除外セラレルノデアルカ、或ハ將來課カルノデアルカ、之ヲ伺ヒタイ

○松隈政府委員 賣上稅ヲ起シマスレバ先程モ申シマシタヤウニ物品ノ賣上ゲデアラウト、其ノ他實際ノ賣上代金若クハ報償金、手數料ト云ツタモノニ課稅出來ルノデアリマスガ、現在ノ我が國ニ於キマシテハ、マダ賣上稅ノ創設ヲスル所マデ至ツテ居リマセス、併シ物品稅トノ鈞合上他人ノ勞務ヲ煩ハス或ル種ノ行為ノ中、特ニ奢侈的性質ノ濃厚ナモノニ付キマシテハ、此ノ際課稅範圍ヲ擴張スルノ適當ト認メマシテ、法律ニ書イデアル一號乃至六號程度マデ擴ゲタノデアリマス、此ノ外ニ周旋料トカ或ハ仲立料ト云フヤウナモノニ此ノ際課稅ヲ致シマセスデシタノハ、ソレ等ハ商行爲ニ伴ツテ當然起ルベキ負擔ノヤウニモ考ヘラレマス、今日ノ程度デハ其處マデ課稅ヲ及ボスノモ如何カト考ヘマシテ、大體ニ於テ奢侈的性質ガ強ク、此ノ戰時下ノ生活トシテハ出來ルダケ節約可能ノ方面ニ付テ先ツ課稅ヲスルト云フコトヲ以テ開始シタヤウナ次第デアリマス

○中村(三)委員 特別行爲稅ガ本年新タニ出來タト云フ其ノ當初ニ於テ今ノ局長ノ御考ヘハ、當局トシテ左様デアラウト思ヒマス、併シナガラ吾々ハ毎年々々増稅ハ已ムヲ得ナイト思フ、巨大ナル財政需要ニ應ズベキ機會毎ニ増稅ヲスルコトニアラズンバ戰爭財政ハ運營出來ナイと言ツテ宜シイ、ソコデ此ノ一ツノ稅ヲ今年バカリデナク、此ノ一ツノ稅ガ何處マデ伸ビテ、ドレダケ日本ノ戰爭増稅ニ力ヲ及ボスカト云フ點ヲ吾々ハ今カラ考ヘテ行カナケレバナラス、稅務當局亦其ノ御考ヘガアルノデアラウト思ヒマス、ソコデ此ノ特別行爲稅ト云フモノハ奢侈的課稅トシテ出テ來タト云フ今ノ御話ハ聽テハ是ガ伸ビテ行ク、現ニ物品稅ガサウデアアル、物品特別稅ハ北支事變特別稅ノ一環トシテ大藏當局ガナサレマシタル當時ハ主トシテ贅澤品課稅デアツタ、別言致シマスレバ、生活第二義品ニ課ケルト云フノガ當時ノ建前デアツテ、總力一千万圓程度ノ收入ニ過ギナカツタ、併シナガラソレダケデハイケナイ、ノミナラズ奢侈的消費ニ對スル課稅ハモウ稅デハナイ、製造禁止乃至ハ制限マデ今日ハ至ツテ居ル、サウ云フ性質ヲ帶ビテ來テ居ル、サウシマルナラバ、將來此ノ特別行爲稅ト云フモノ——物品稅ガ當初ハ奢侈的課稅デアツタモノガ、今日デハモウ或ル程度必需品ニ近イモノニマデ課稅サレル、現ニ「マッチ」ニモ稅金ガ課カル、電球ニモ課カル、オ茶ニモ課カルト云フヤウニ物品稅ハ其ノ伸張力ヲ示シテ來テ居ル、ソコデ此ノ際私ハ主稅當局トシテ御言明願ヒタイコトハ、此ノ特別行爲稅ヲ來年、再來年ニウント伸バシテ少ナクとも數億位ノ增收ヲ得ルヤウナ御方針デアアルノデアルカ、又ハ一寸ヤツテ見ルト云フノデアアルカ、私ハ一寸ヤツテ見ルト云フノデアアルカ、特別行爲稅ト云フモノガ日本獨特ノモノデ、外國流ノ賣上稅ニアラズ又取引稅デモナイ、大藏當局ガ頭ヲ絞ツテ日本獨特ノ特別行爲稅ト云フモノヲ出シテ來タノダ、之ヲ將來ウント伸バシテ、日本ノ財政需

要ニ應ズベク増税ニ力ヲ入レテ來ルト云フ方
針デナケレバナラナイ、又サウデナケレバ
意味ヲナサヌ、私ハ茲ニ將來ノ爲ニ主税局
長ノ今一層ノ突込シテ御言明ヲ煩ハシタイ
ト思フノデアリマス

○松隈政府委員 特別行爲稅ヲ將來如何ニ
發展セシメテ行クカト云フ見透ノ問題デア
リマシテ、是ハ中々御答ヘノ困難ナ問題デ
アリマス、戰時財政ノ膨脹ニ伴ツテ財政需
要ガ増シテ參ル場合ニ於キマシテ、主税當
局トシテハ歲入増加ノ方法ヲ各方面ニ互ツ
テ考ヘナケレバナラナイノデアリマス、隨
ツテサウ云フ意味ニ於テ將來特別行爲稅法
ノ課稅範圍ヲ擴充スルト云フヤウナコトニ
付テモ研究ヲ致サナケレバナリマセヌケレ
ドモ、特別行爲稅法ノ中ニ更ニ先程御示シ
ノヤウナ仲立料或ハ手數料或ハ銀行ノ受取
リマスル貸付ニ對スル利子ト云フヤウナモノ
マデヲ含メテ來ルカドウカト云フコトハ、考慮
ヲ要スル問題デアリマシテ、サウ云フ必要
ガアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、
寧ロ物品稅法、特別行爲稅法兩者ヲ通ジ
テ、其ノ課稅範圍ヲ擴張ヲ致スカ、或ハ之ヲ
此ノ際解體シテ、賣上稅ニ編成シ直スト云フ方
ガ宜シイカト云フ問題トシテ、研究ヲシテ參
リタイト思ツテ居リマスノデ、差當リノ所ト
致シマシテハ、特別行爲稅法ノ課稅範圍ヲ著
シク廣ク擴大スルノハ如何カト思ツテ居リ
マス

取引稅ノ創設ハ不可避ナル、ソコニ行カ
ナケレバイケナイ、モウ戰爭増稅ハソレヲ
要求シテ居ル、斯様ニ私ハ見透スノデアリ
マシテ、來年度ノ増稅ニ當リマシテハ一段
ノ工夫ヲ凝ラサレンコトヲ私ハ希望致シテ
置キマス

次ニ法律案要綱ヲ拜見致シマスルト、第
三「酒類ニ付テハ國家重要產業ニ從事スル
勞務者等ニ對シ若干數量ヲ限リ低廉ナル價
格ヲ以テ供給スル爲メ特ニ稅率ヲ低クスルト
共ニ酒類ノ生産及配給ニ付統制ヲ強化ス
ルコト」ト云フコトガアル、私ハ酒ト云フ
モノニ付キマシテ唯飲ムカ飲マストカ云フ
位ニ思ツテ居ツタノデアリマスガ、此ノ要
綱ニ見マスルト、酒類ト云フモノガ殊ニ重
要產業ノ勞務者ト關係ヲシテ、相當考慮ス
ベキ問題トシテ浮ビ上ツテ來タ、特ニ若干
數量ヲ限リテ重要產業ニ從事スル勞務者ニ
對シテ低廉ナル價格ヲ以テ供給スルト云フ
コトハ、茲ニ一ツノ勞務對策ト相絡シテ來
タト云フコトガ、今回ノ法律案要綱ノ中ニ
於ケル注目スベキモノトシテ私ハ舉ゲルノ
デアリマス、ソコデ吾々ハ此ノ際主税局長
ノ酒造行政ニ關シテ御同ヒヲシテ置カナケ
レバナラス、一體來年ハ米ニ依ツテドレダ
ケ酒ヲ造ラレル、或ハ合成酒其ノ他ハドウ
セレルカ、差支ナイ範圍ニ於テ所謂酒造計
畫ト云フモノガ立タナケレバナラナイ、酒
ヲ造ルト云フモノ、是ハモウ國家性ヲ持ツ
テ來タ、國家重要產業ニ從事スル勞務者ト
云フコトニ關係シテ來タノデアリマスカラ
ラ、從來ト違ツテ來タ、計畫生産ニナラナ
ケレバナラス、私ハ此ノ酒ノ計畫生産ニ付
テ先ヅ其ノ概略ヲ御示願ヒタイト思ヒマ
ス

○松隈政府委員 酒類ニ付キマシテハ、會
テハ嗜好品ト云ツタヤウナ見方モアツタノ
デアリマスルガ、其ノ後物資ノ關係カラ致
シマシテ、最近ニ於テハ生産ガ基準年度ニ
對シテ半分以上ニ減ツテ居リマスノデ、今
日ノ酒類ガ著シク生活必需品ノ容貌ヲ具ヘ
ルヤウニナツテ參ツタ次第デアリマス、ソ
コデ從來ト酒類ニ對シマスル考ヘヲ變ヘナ
ケレバナラス、斯様ニ存ジテ居リマス、
即チ酒類ノ生産ニ當リマシテモ計畫生産ヲ
行ツテ、配給ニ付キマシテモ從來ノヤウナ
自由配給ヲ致シマセヌデ、配給徑路ヲ確立
シテ、統制的ナ配給ヲシ、重點配給ヲ行フ
ト云フコトガ必要ニナツテ參ルノデアリマ
ス、大藏當局ノ酒稅行政ハ只今申上ゲマシ
タヤウナ觀點カラ漸次擴張強化ヲ見ントシ
ツツアルヤウナ次第デアリマス、先ヅ生産
ニ付キマシテ、最近ノ酒造年度ニ於テドノ
程度ノ酒類ガ生産サレルカト云フコトヲ申
上ゲテ見タイト思フノデアリマス、清酒ニ
付キマシテハ昭和十七酒造年度ノ製造見込
高ハ百六十萬二千石程度ヲ見込シテ居リマ
ス、前酒造年度ハ二百七萬三千石デアリマ
スノデ、二割二分程度減ツテ居リマス、是
ハ酒造用米ノ規正ヲ受ケマシタ數量ガ約二
割ト云フコトニナツテ居リマスルノデ、清
酒ノ如キモノハ原料ガ抑ヘラレマス、直
チニソレダケ減ルヨリ外途ガゴザイマセヌ
ノデ、大體二割二分程度減ツテ居ル譯デア
リマス、合成清酒ハ昭和十七酒造年度ノ見
込ハ四十三萬八千石程度ヲ見込シテ居リマ
ス、前酒造年度ニ於テハ四十二萬一千石程
度デアリマスルノデ、是ハ四分程度増エル
コトニナツテ居リマス、清酒ノ原料ガ國民
主要食糧デアリマスル米デアリマスル關係

上、此ノ方面ニ於テハ相當強ク制約ヲ受ケ
ルノデアリマス、隨テ清酒ノ減リマシタ分
ヲ出來ルダケ合成清酒ヲ以テ置換ヘタイト
思フノデアリマスルガ、合成清酒ノ原料モ、
其ノ主タルモノハ甘藷、馬鈴薯等、同ジク
國民ノ食糧ニ供セラレルモノデアリマスカ
ラ、是モ十分ニ使フ譯ニハ行カナイノデア
リマスルガ、米ヲ減ラサレマシタ關係上、
芋ニ付テハ相當考慮ガ拂ハレマシタ結果、
今年ハ前年ヨリモ芋ヲ酒類ノ原料ニ使フ分
量ハ増エルト思ツテ居リマス、大體芋トシ
テハ酒類全部デ六千五百萬貫位ノモノヲ使
用出來ル見込デアリマス、ソレカラ申シマ
スルト、モウ少シ合成清酒ガ増エテ宜イノ
デアリマスルガ、合成清酒ニ付キマシテハ
相當石炭ヲ要スルノデアリマスルガ、石炭
事情ガ窮迫シテ居リマシテ、或ル程度石炭
ノ制約ヲ受ケマスルノデ、其ノ點ヲ見込ミ
マスルト、大體四十三萬八千石程度ヲ見込
ムコトガ宜カラウト思ツテ居リマス、濁酒、
白酒、味淋等ハ其ノ數量モ極メテ僅カナモノデ
アリマス、燒酎ニ付キマシテハ新式燒酎ト舊
式燒酎ト合ハセテ三十四萬八千石程度ヲ
見込シテ居リマス、前酒造年度ニ於テハ三
十二萬七千石程度デアリマスルカラ、是ハ
六分程度増エルノデアリマス、前酒造年度
ニ於キマシテハ、芋ノ配給關係上燒酎ハ非
常ニ減産ニナリマシタ、今年ハ燒酎ハ幾分
増エルト云フコトニナツテ居リマス、ビー
ルニ付キマシテハ、昭和十七酒造年度ニ
於テハ百十六萬一千石程度ヲ見込シテ居リ
マス、前酒造年度ニ於キマシテハ百四十一
萬一千石程度デアリマスルノデ、一割七分餘
減ツテ居リマス、是ハヤハリ石炭ノ關係ヲ
考慮致シマシテ、此ノ程度ニ出來ルモノト

見込シテ次第アリマス、其ノ他果實酒、雜酒等ハ何レモ數量ノ少イモノデアリマスルノデ、數字ハ省略致シマスガ、以上申シマシタ致辭飲料全體ヲ合計致シマスルト、昭和十七酒造年度ニ於テハ、三百七十三万四千石程度出來ルコトニナツテ居リマシテ、前酒造年度ニ於キマスル四百四十六万四千石ニ對シマシテハ、一割六分餘減少スルコトニナツテ居リマス、是ハ先程申シマシタヤウニ米ガ減リ、石炭ガ減ルト云フヤウナ原材料ノ減少ニ基ク結果デアリマス、是等ノ酒類ヲ合理的ニ配給スルノデアリマスガ、從來モ酒類ノ配給ニ當リマシテハ、重要産業勞務者ニ對シマシテ、特配用ト致シマシテ、或程度ノ數量ヲ確保致シテ居ルノデアリマスガ、今回ハ酒稅ノ稅率ノ引上割合ガ相當キツイノデアリマスルカラ、ソレ等重要産業勞務者等ニ對シマスル配給數量ノ中、若干量ハ特ニ稅率ヲ引上げナイ値段デ配給ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ次ハ家庭用、業務用、ソレカラ特殊用等ニ分ケテ計畫的ニ配給致シテ居ルノデアリマスガ、今後ハ法律ニ決メラレマシタ酒類委員會ト云フモノガゴザイマスルノデ、此ノ酒類委員會ニモ諮問致シマシテ、一層配給ノ計畫化、合理化ヲ圖ツテ參ルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

テ宜シイト思フ、乏シキヲ憂ヘズ、齊シカラザルヲ憂フルナント云フコトハ自由主義デアアル、國家ノ目的達成ノ爲ニ必要ナル産業ニ從事シテ居ル勞務者ニ對シテハ、ウシト酒ヲ廻スコトガ私ハ必要ダト思フ、是ハ禁酒論トカ、ソナコトヲ言フノデハナイガ、ソレガ現實ノ生産力増強ニ役立テバウシト廻シテ宜シイ、吾々飲マナクテモ宜シイ、此ノ覺悟ヲ持ツニ非ズンバ、生産力増強ハ出來ルモノデハナイ、サウ云フ觀點カラ此ノ第三項ニ示サレテ居ル重要産業ニ從事スル勞務者ニ對シテハ見込ガアルノカ、又安イ値段ヲ以テ供給スルト仰シヤイマスコトハ、前ノ値段デ以テ供給セラレルノデアリマスガ、割引ヲセラレルノデアリマスカ、ソレ等ノ具體的ノコトヲ御示シテ願ヒマス、又ドウ云フ方法ヲ以テ配給セラレルノカ、途中デ此ノ酒ガ横ヘ流レテシマツテ、肝腎ノ勞務者ノ手ニ入ラナイト云フコトニナリマシテハ何ニモナラナイ、ココニモ私ハ配給徑路ノ適正化ヲ圖ルト云フコトガ今日必要デアルト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ如何ニナサラントスルノデゴザイマスガ

○松隈政府委員 酒類ノ配給計畫ニ付キマシテハ、清酒ニアリマシテハ重點配給用ガ二割七分程度、家庭用ガ五割二分程度、特殊用——是ハ冠婚葬祭、應召、入營、歸還ト云ツタヤウナ用途等デアリマスガ、ソレニ對シテ三〇程度、業務用ニ對シテ一六〇程度ノ比率ヲ以テ配給タイト考ヘテ居リマス、合成清酒ニ於キマシテハ重點配給用ガ三九〇、家庭用ガ四五〇、特殊用ガ三〇〇、業務用ガ一二〇程度ノ配給ヲ致シタラ如何カト思ツテ居リマス、其ノ他燒酎、「ビール」等ニ付キマシテモ、重點配給用竝ニ家庭用ニ重キ

ヲ置キ、業務用ハ成ベク減ラス方針ヲ以テ配給計畫ヲ立テルヤウニ致シタイト思ツテ居リマス、次ニ重要産業勞務者等ニ對シマシテ今回ノ増稅ノナカツタ値段デ配給致シマスル其ノ方法ハ、今回庫出稅ガ法律ニ規定シテアル通りニ上ツタノデアリマスガ、特ニ酒稅法ノ第二十七條ノ三ト云フ規定ヲ置キマシテ、大藏大臣ノ定ムル用途ニ充ツル爲メ、命令ノ定ムル所ニ依ツテ製造場カラ移出スルモノニ付キマシテハ、新シク定メタ稅率ト、ソレカラ左ニ掲グル割合ト云フノハ増稅前ノ稅率デアリマス、ソレトヲ引イタ差額ニ付テ庫出稅ヲ輕減スル、斯ウ云フ規定ヲ置イテ居リマスカラ、丁度庫出稅ガナカツタ元ノ庫出稅ノ稅率デ引取ツテ行ツタト同ジ負擔デアアル、斯ウ云フ酒ガ要ル譯デアリマス、其ノ酒トシテ今ドノ位ノ石數ヲ豫定シテ居ルカト申シマスルト、清酒、合成清酒ヲ合セテ約五十万石、燒酎約六万石、「ビール」約十二万石程度ノモノハ、只今申上ゲマシタ稅率ヲ引上ゲナイ所ノ價格ヲ以テ配給致シタイト思フノデアリマス、斯様ニ相當ノ増稅ヲ一面ニ於テ行ツテ置キナガラ、他面ニ於テ増稅ヲ受ケナイ酒ヲ重點配給致スルノデアリマスカラ、是ガ目的ト致シテ居リマスル需要者ノ所ニ確實ニ渡ル必要ガアルノデアリマシテ、ソレガ爲ニハ配給徑路ヲ正ス必要ガアリマスノデ、一方ニ於キマシテ、酒造組合法ノ改正法律案ヲ提案致シマシテ、配給機構ノ整備ヲ圖ルコトニ致シテ居リマス共ニ、酒稅法中ニ於キマシテ、今申上ゲマシタヤウナ安イ酒ヲ横流シタト云フヤウナ場合ニ於キマスル罰則ヲ設ケテ取締ルコトニ致シテ居リマス、尙ホ實際ノ扱ヒト致シマシテハ、此ノ種重

點配給ノ酒類ヲ扱ヒマスルノハ、各種業務ニ付デアリマスル統制會、若シクハ場合ニ依リマシテハ、産業報國會ト云ツタヤウナ團體ヲ利用シテ、配ルコトニ致シタイト思ツテ居リマス、現在モ重點配給用ノ酒類ハ各業種ニ付テアル統制會若シクハ産業報國會、其ノ他ノ業種ノ世話ヲシテ居ル團體ノ人員ヲ調ベサセ、ソレカラ其ノ所屬團體員ノ中ニ於テ酒ヲ飲ム者ト飲マナイ者、場合ニ依ツテハ酒ヲ飲ム者ノ中、強飲者ト弱飲者ヲ分ケマシテ、凡ソ一箇月ナリ、或ハ數箇月ナリノ所要量ヲ主稅局デ調ベサセテ、ソレニ對シテ或ル程度ノ割合ノ配給ヲ致シマシテ、其ノ世話ヲスル團體ニ於テ切符又ハ通帳ヲ以テ目的ノ重要産業勞務者其ノ他ニ配ルヤウニ致シテ居ルノデアリマスガ、今後モ大體從來ノ方法ヲ襲用シテ參リタイト思ヒマスガ、價格ノ上ニ於テモ相當差ガ出來タコトデモアリマスカラ、業者ノ自肅ヲ求メルト共ニ、一方罰則ヲ強化シ、監督上ニ付テモ十分注意シテ參リタイト思フノデアリマス

○中村(三)委員 私ハ一寸極端ナ議論カモ知レマセスガ、此ノ戰力増強ノ急務ナル時ニ、重要産業ニ從事スル勞務者ニ對シテ酒ヲ與ヘル、之ニ依ツテ能率ガ上ルトスルナラバ、是等ニ供給スル酒ハ無稅ニシテ宜シイ、只ニ近イ程度ニシテヤツテ宜イト思フ、是位思ヒ切ツタ程度ニシテ鞭撻スルコトガ出來レバ、是ハ戰力増強デス、普通ノ考ヘデハイケナイ、斯様ニ思ツテ居リマスガ、今統制會ト仰シヤツタノデスガ、統制會ハサウ云フ經濟行為ガ出來ルノデスカ

○松隈政府委員 統制會ニ斡旋シテ貰ツテ居ルト云フ程度デアツテ、統制會ガ買取販

賣スルト云フ經濟行爲ヲヤツテ居ルト云フ譯デハアリマセヌ

○中村(三)委員 分リマシタ、私ハ一步進シテ統制會ニコンナコトハヤラシテ宜イト思フノデス、是ハ商工省ノ問題ニナリマスガ、統制會ハ統制事業デナレバ一步モ出ラレナイ、ソナコトヲ言ウテ居ルカライケナイ、コンナコトハ統制會ニヤラセルガ宜シイ、或ハ統制會ニ迷惑ガ掛ルカモ知レマセスガ、ヤツテ宜イトデス、サウシテ此ノ配給徑路ヲ的確ナラシメルト云フ位ニ、斯ウ云フコトマデ統制會ガ世話スル、是ハ親心デス、此處マデ行カナレバナラヌト思ヒマスガ、大藏省デ御考ヘニナツテ、今ノヤウナ廻リ廻ツタ御答辯ヲナサラズニ、本當ニ積極的ニ統制會ニ務メサセヨウトスルナラバ、重要産業ニ從事スル勞務者ニ對シテノ大藏省ノ對策ヲ確立シテ戴キタイ、私ハ斯様ニ思ツテ居リマス、ソレカラ今御説明ヲ伺ヒマス、米ヲ原料トシタ酒ト云フモノハ、段々米穀對策上減ツテ居ル、相當遊休設備ガ出テ居ラウト思フ、私共ハ半分以上遊休設備デハナイカト思フ、一體今日ノ日本ノ現有設備、現有資材、現有人的資源ヲ以テ生産力ヲ増強スルト云フコトニ付テハ、現在ノ遊休未働設備ヲ十分軍需産業ニ集中動員スル、何デモカンデモヤツタ宜シイ、私ハ酒造業ニ於テ遊シデ居ルモノハ、是ハ屑鐵ニナルモノハウントヤラセナサルガ宜シイ、大藏省ハ從來酒造業者ニ對シテ非常ニ温情ヲ以テセラレタト云フ、私ハ其ノ心情ハ諒トスル、併シナガラ今國家非常ノ秋、思切ツテ此ノ酒造業ノ遊休設備ヲ轉換スルガ宜シイ、是位ノコトヲナサラナレバ、現有設備、現有資材ヲ以テ戰力増

強ト云フコトハ困難デアル、私ハ酒造業ニ付テモ、産業設備營團等ニ於テ買上ゲルト云ツタヤウナコトヲ思ヒ切ツテナサルガ宜イト思フ、是ハ主稅當局ガ現在ノ戰力増強ニ主稅行政ヲ通ジテ貢獻ヲセラレル一ツノ道デハナイカト思ツテ居ル、酒造業ノ遊休設備、未働設備ガ多イト云フ私ノ見込ハ間違ツテ居リマスカドウカ、此ノ邊數字のニ御示シテ願ヘレバ仕合セデアリマス

○松隈政府委員 只今中村委員ノ仰シヤツタコトハ正ニ其ノ通りデアリマシテ、酒造業ニ於テハ、殊ニ清酒ニアリマシテハ其ノ主タル原料ガ米デアリマス關係上、サウシテ其ノ米ハ御承知ノ通りナ米穀需給關係カラ致シマシテ、漸次制約ヲ受ケテ居リマス、昨年ニ於キマシテ、酒類ノ爲ニ使ヒマシタ米ハ百七十二万石程度デアリマスルガ、今年ハ大體百三十九万石程度デアラウカト思ツテ居リマス、約二割程度減ツテ居リマス、一時ハ酒類全體ノ爲ニハ三百六十万石程度モ使ツテ居ツタノデアリマスルカラ、其ノ點カラ言ツテ酒類全體ノ製造量ガ減ツテ居ル、隨テ相當遊休設備ヲ生ジテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ物の戰力ヲ増強致シマスル爲ニ、凡ユル方面ニ於ケル遊休設備ヲ利用動員スルコトノ必要デアリマスコトハ仰セノ通りデアリマス、現在酒類ノ製造場ハ、清酒ダケニ付テモ約六千餘アルト思フノデアリマスガ、先程申上ゲタヤウナ製造高モ減ツテ居リマス場合ニ於テ、此ノ製造工場ヲ如何ニ整理スルカト云フコトハ十分ニ考ヘナレバナラナイコトデアリマス、從來ハ主トシテ自治的統制ニ任シテ參ツタノデアリマスルガ、今回ハ酒稅法並ニ酒造組合法ノ改正ヲ致シマシ

テ、自治的統制ニ於テモ一段ト強化ヲ致シマスルト共ニ、政府モ必要ガアレバ、更ニ政府ノ命令ニ依ツテ統制ヲ強化シ得ル規定ヲ置キマシタノデ、今後ノ問題ト致シマシテハ十分ニ御趣旨ノアル所ヲ體シテ考ヘ參リタイト思ヒマス、尙ホ今マデニ付キマシテモ或ル程度ノ整理ハ行ヒ、遊休設備モ出シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ銅「タンク」ノ如キモノハ、今銅ノ拂底シテ居ル際ニ非常ニ喜バレマシテ、是ハ相當量ヲ供出シテ居リマス、ソレカラ小型ノ精米機ノ「モーター」アタリモ、目下之ヲ出スコトニ付テ組合デ調査ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、更ニ又一層進シデ遊休設備ノ供出ト云フコトニ參ラナレバナラヌト云フコトハ考ヘテ居リマスノデ、今後ノ問題トシテ善處致シタイト存ジテ居リマス

○中村(三)委員 同時ニ更ニ進シデ整理合同ヲセラレ、一體五十石ヤ三十石造ラレテモ何ニモナラナイ、最近勅令ヲ改正セラレテ「アルコール」ニ付テハ特例ヲ設ケラレタヤウデアリマスガ、僅カナ材料ヲ小サイ製造業者ニ分配スルト云フヤリ方ハ、是ハモウイケナイ、皆集中動員ナンデス、氣ノ毒ダケレドモ仕方ガナイ、是ガ今日ノ戰力増強デア、私ハサウ云フコトニ御出ニナラナイト、今日ノ時代的要請ニ合ハナイ、此ノ點ニ付テモ一段ノ努力ヲ私ハ煩ハシタイト思フ、吾々色々世俗的ニ接觸シテ見マスト、色々酒ガ出來ル、中ニハ百合根酒ト稱シテ、百合根ヲ利用シテヤルト云フコトマデア、アルサウデアリマスガ、一體斯ウ云フモノニ人ヲ使ハスコトハ——又吾々常識的ニ考ヘテ製造高ハ小サナルニ致シマシテモ、オ雖サンニ使フ白酒ナント云フモノモ製造

ヲ禁止シテ宜シイ、アンナモノヲ飲シデ居ル時代デハナイト云フ議論ハ私ハ正當デハナイカト思フ、是ハ一種ノ不要不急ナモノデス、不要不急ナル此ノ雜酒ト申シマスカ、今申上ゲルヤウナ贅澤ナ酒ハ、假令釀造高ガ少クアリマシテモ捨テテ宜イ、是ハ局長モ同感ダト思フ、收入ガ減ツテモ構ハス、贅澤サセナイ、斯ウ云フコトハアナタ方新聞ニ發表シテ居ラレル、然ルニ斯ウ云ツタ無意味ノ酒トカ、不要不急ナ酒ヲヤラセル、斯ウ云フヤウナコトハ私ハ無意味ナ人的資源、不要ナル設備ヲ増ス一方デハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フコトニ對スル御見解ヲ明カニシテ戴キタイノデアリマス

○松隈政府委員 酒類製造業者ノ整理合同ノ必要ニ付テハ、大體之ヲ認ムルモノデアリマスルガ、ソレノ具體的實行方法ニ付テハ中々難カシイ問題ガアルノデアリマシテ、例ヘバ簡單ニ釀造石數ノ小サナ所ヲ止メサセテ、大キナ所ニ統合スルト云フダケデ問題ハ解決スルカト云フト、サウモ行カナイデアリマス、御承知ノ通り現在ハ輸送力ト云フ問題ガ相當重要デアリマス、ソレカラ資材ノ關係、壘、箱、釘ト云ツタヤウナモノガ相當窮屈ニナツテ居リマス、ソコデ小サイモノヲ止メサセテ大キイ所デ纏メテ造ルト云フコトニナリマスルト、其處デ荷造リヲシテ消費地ニ輸送スルト云フコトニナルノデアリマスルガ、其ノ荷造リノ物資ガ得難イ、ソレカラ輸送ガ困難デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、小釀造家ト雖モ其ノ附近ノ需要ヲ賄ツテ居ルト云フ所ハ寧ロ自給自足ト云フ原則ニ依ツテ、ソレヲ殘シテ置イテヤル方ガ却テ物資勢力ノ節約ニナルト云フヤウナ關係モアリマスルノ

デ、一概ニ小サイモノヲ切捨テ大キイモノニ併セルト云フ譯ニモ參ラヌカト思ヒマス、併シ製造場ガ多過ギテ遊休設備ヲ持ツテ居ルコトハ事實デアリマスルカラ、之ニ付テハ適當ナ案ヲ立テマシテ、物的戰力ノ増強ト云フ國家ノ大方策ニ副フヤウニハシテ參リタイト思ツテ居リマス、ソレカラ清酒ガ米ノ關係デ減リマシタ關係上、色々ナ「アルコール」含有飲料ト云フモノガ清酒ニ代ツテ現ハレテ參リツツアルノデアリマシテ、是ハ或ル程度廢物利用ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、強ヒテ抑壓スルニモ及バナイカト思ツテ、特別ニ資材ヲ要シナイト云フヤウナ場合ニ於テハ認メテ居ル例ガアルノデアリマシテ、御話ノ百合根酒ノヤウナモノハ認メルカドウカト云フコトモ、一ニ懸ツテ其ノ原料ガ廢物デアツテ、捨テ置ケバ何ニモナラナイケレドモ、之ヲ利用スルト或ル程度ノ「アルコール」含有飲料ガ得ラレル、而モ其ノ場合ニ於テ運送力モ餘リ煩ハサナイ、或ハ新シク設備ヲスル爲ニ物資ヲ使フコトモナイト云フヤウナコトデアラナラバ、必ズシモ排斥シナイデモ宜シイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマスルガ、是ハ各個ノ具體的ノ場合々々ニ應ジテ是非ヲ判斷スベキモノデアルト思フ次第デアリマス、白酒ノヤウナ特殊目的ノミ使ハレル酒ヲ今日殘スカドウカト云フ點ハ御意見ノ點モアリマスルノデ、將來ノ問題トシテハ十分ニ考ヘタイト思ヒマス、少クトモ今日マデ之ヲ殖ヤスト云フヤウナコトハシテ居リマセヌガ、絕對禁止スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、モウ少シ考ヘサシテ戴キタイト思ヒマス

○中村(三)委員 今仰シヤツタ點ハ一ツノ

意見デスガ、輸送力ノ關係ニ於テハ或ル點ニ於テ酒バカリヂヤナイ、米ニシテモ、野菜ニシテモ自給自足ト云フ體制ニ變ツテ來タ、縣「ブロック」打破ト云ツテモ中々出來ルコトデハナイ、自給自足ヲヤル、是ハ一ツノ考ヘ方デアリマス、併シナガラ其ノ縣内ニ於ケル整理統合ハ私ハ出來スコトハナイト思フ、詰リ縣内ニ於ケル分散主義ヲ止メテ、集中主義ヲナサルガ宜イ、私ノ意見ハソコデスカラ、是ハ當局トシテ是非ヤツテ欲シイ、今言フ要不急ノ酒、廢物利用ト云フコトヲ言ハレタノデスガ、成程色々百合根酒トカ蜜柑トカハ廢物利用デス、併シ廢物利用スルダケニ砂糖ガ要ル、是ハ私ハ製造ノコトハ詳シク存ジマセヌガ、砂糖ガ要ルダラウト思フ、廢物利用以上ニ有用物資ガ要ルナラバドウナルカト云フ議論モ立チ得ルト思フ、廢物利用ノ物ニ或ル程度砂糖ガ要ツテ、ソレガ酒精飲料トシテ賣ラレルト云フヨリモ、本當ニ廢物利用ノモノヲ捨テテ、ソレニ要スル砂糖ハ家庭用ニ廻ハスト云フコトモ私ハ理論上成立ツト思フ、斯ウ云フヤウニナサルト云フコトガ、是ガ一番重點主義デアル、是ガ戰力増強デアル、要ラヌモノハ思ヒ切ツテ捨テシマフ、斯ウ云フコトデナケレバ集中動員ハ不可能デアルト思フ、此ノ意味ニ於テ私ハ御尋ネシタノデアリマシテ、折角御努力ヲ私ハ御願ヒマスル、時間ガナイヤウデアリマスカラ、此ノ程度デ止メテ置キマス

○松村委員長 御諮リ致シマス、午後續行ノ豫定デアリマスルガ、本會議ガアリマスルノデ、本會議ハ割合ニ早ク済ムダラウト云フ見込デアリマス、ハツキリ致シマセヌガ、三時半頃ニハ終リハシナイカト云フノ

デ一應休憩シテ、大藏大臣ガ折角出席サレルコトデアリマスカラ、本會議終了後續行ト云フ豫定ニ致シマシテ、其ノ時ノ臨機ニ處置ヲ執リタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○松村委員長 左様御取計ラヒマス、是ヲ以テ一應休憩致シマス

正午休憩

午後三時四十九分開議

○松村委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、此ノ際御諮リ致シマスガ、大藏大臣ガ出席デアリマスルノデ、成ベク大藏大臣ニ關スル事項ヲ御質疑願ヒマシテ、其ノ他ノ政府委員ニ關スル部分ハ出來得ル限リアトニオ廻シテ御願ヒ致シタイト思イマス——小野君

○小野(義)委員 先般本議場デ以テ御尋ネ致シマシタコトニ付キマシテ、懇切ナ御答辯ヲ得タノデアリマスルガ、何分ニモ發言ノ時間ノ制限ヲ受ケテ居リマシタノデ、盡シ得ナイ所ガ相當ニアリマス、本日ハ重ネテ大藏大臣ニ御所見ヲ伺ヒタイ點ガアルノデアリマス、私ノ御尋ネシタ要點ハ、モウ少シ増稅ヲ強化サレテハドウカ、是ガ第一點、第二點ハ公債ノ發行方法ヲ轉換サレテハ如何、第三點ハ國費減少、公債發行額ヲ節約スルト云フ意味カラ、中央官廳ノ整理統合ハ如何、府縣ノ廢合ハ如何、此ノ三點デアツタノデアリマスルガ、今日ハ逆ニ第二三ノ方カラ申上ゲマス

中央官廳ノ整備統合、府縣ノ廢合ト云フコトニ付テ總理大臣ヨリ御答辯ヲ得ルノガ筋合デアルケレドモ、オイデガナイ、内閣

ノ長官ノ方々ノ御答辯デ結構デアルト申シタノデアリマシタケレドモ、御答辯ガナカツタ、唯大藏大臣ガ國費ノ減少ト云フコトニ付テハ出來ルダケヤル、同感ダト云フ御言葉デアツタノデアリマス、隨テ行政機構、府縣ノ廢合ノ問題ハ其ノ儘ニ流レテ居ツタノデアリマスガ、之ニ付テハ昨日豫算總會デ總理大臣ハ小川君ノ質問ニ關聯シテ御答ヘガアツタ、其ノ御趣旨カラ行キマスルト、機構イデリハ大嫌ヒダト云フコトデアツタ、ガカラ御好キニナルマデ待ツ外ハナイ、ソレカラ府縣ノ廢合ニ付テハ、内務大臣ガヤハリ小川君ノ質問ニ對シマシテ——小川君ハ私ト同ジヤウナコトヲ言ハレテ居リマス、府縣「ブロック」ト云フコト、此ノ對立ヲ緩和スル上ニモ府縣ノ廢合如何ト云フ意味ノ質問デアリマシテ、内務大臣ハ、府縣「ブロック」ト云フコトハ相當緩和サレテ居ル、府縣ノ廢合ヲヤラヌデモ、今ノ所ハ宜イヤウニ思フト云フヤウナ御答辯デアツタ、是モ亦私共ト意見ノ相違ト云フコトニ歸着致シマシテ、此ノ第三ノ問題ハハツキリ致シマシタ、是ハ大藏大臣ニ御尋ネスル筋合デアリマセヌガ、順序トシテ申加ヘテ置キマス

第二ノ公債發行ノ方法轉換如何、實ハ今朝程官報號外デ速記録ヲ手ニ入レマシタノデ、其ノ點ニ於テ大藏大臣ノ御答辯、チヨツト私ノ申シタコトガ徹底シナカツタノデハナイカト云フ疑問ヲ今持ツテ居リマス、斯ウ云フ工合ニ仰シヤツテ居ル「日銀ノ勘定ニ公債及ビ債券トアリマスルガ、是ハ御承知ノ如ク日本銀行法ヲ改正致シマシテ、債券ニ付キマシテモ、場合ニ依ッテソレガ日銀ノ融通シマスル資金ニ依ツテ賄ヒ得

ル、斯ウ云フ途ヲ開キマシタ譯デアリマス、其ノ理由カラ致シマスルト、日本銀行ノ勘定ノ金融上ノ性質カラ申シマスルト、公債モ債券モ同ジニ扱ヒマシテ宜シイ譯デアリマス、若シモ此ノ手持ガ殖エルト云フナラバ、兩者ノ合計ガ過度ニ殖エマスルコトガ、御示シノ如ク惡イ徵候デアリマス、ソレハ資金ノ蓄積ノ増加ニ依ツテ極力之ヲ防イデ參ル、斯ウ言ツテ居リマス、私ノ質問申シタノハ、今マデハ改組前、五月以前ノ日銀ノ「バランシート」ニハ公債トノミアツタ、所ガ債券ガ加ハツタ、ソレハ御答辯ノ通りデス、金融上ノ性質ハ同ジコトデアリマセウ、併シハ擔保ニ取ルノデナクテ所有スルノデアリマスガ、要スルニ資金ノ放出ニナルコトハ同ジデス、併シ私ノ申スノハサウデハナイ、若シ日本ニ不幸ニシテ「インフレーション」ガ起ルトスルナラバ、是ハ公債ノ「インフレ」カラ起ルデアラウ、ソコデ公債ノ賣レ残リガ日銀ノ手持ニ堆積スル、事變直前ノ昭和十二年三月ニハ六億デアツタノガ、今日ハ五十億ヲ突破シテドン／＼殖エル、一體ドレダケ殖エルカト云フコトハ、日銀ノ所有公債ノ數字ヲ見レバ分ルノデ、吾々ハ始終警戒シ得ル、ドウ云フ工合ニナルノダ、「インフレーション」ノ進行果シテ憂フベキ状態ニアルカドウカ、ソレデアルノニ公債及ビ債券トシマスト、公債ガドレダケアルカト云フコトガ分ラナイ、債券ト云フノハ勿論國債、貯蓄債券ト云フヤウナ實質上ノ公債デアリマス、恐ラク融資金ヲ受ケル所ノ興業銀行ノ社債或ハ拓殖銀行、朝鮮殖産銀行、戰時金融庫、サウ云フモノヲ言フノダラウト思ヒマス、成程通貨膨脹ト云フ點

カラ見レバ、公債ト引換ニ日銀券ガ出デモ、債券ト引換ニ日銀券ガ出デモソレハ同ジコトデアリマセウ、併シ公債ト債券トハ性質ガ違フト思フ、例ヘバ「ドイツ」ガ「インフラチオン」ヲ受ケテ、其ノ後ニ何ガ一番モノヲ言ツタカ、何ガ一番モノヲ言ハナカツタカ、公債ハモウ「ゼロ」ニナツテシマツタノデアリマス、是ハ一番イケナカツタ、一番宜カツタノハ土地其ノ他ノ不動産、工場ト云フヤウナモノ、ソレカラ社債、次ガ株式、ソレカラ公債——公債ハ殆ドモウ價値ハナクナツテシマツタ、ナゼ社債ガ宜イカト云フト、説明スルマデモナク後ロニ物ヲ持ツテ居ルカラデアリマス、サウ云フ點カラ云ツテ、債券ヲ假ニ日本銀行ガ相當持ツテ居ツテモ、公債「インフレ」ト云フ見透シハ出テ來ナイガ、公債ガ多クナルト云フコトガ心配デス、ソコデ近頃ノヤウニ公債及ビ債券トナサライデ、公債ナラ公債、手持有價證券トシテデモ一公債、二債券、斯ウ云フ工合ニシテ貰ヒタイト云フノガ私ノ註文デアツタノデアリマスガ、此ノ速記録ニ現ハレタル御答辯ニ依リマシテハ、其ノ點ガ一寸外レテ居ル、私ノ言ヒ方ガ恐ラク惡カツタノデアリマセウ、此ノ點ヲ第一ニ伺ヒマス

○賀屋國務大臣 只今ノ御質問デゴザイマスルガ、債券ト公債ノ違ヒト云フコトハ、今御述ベニナリマシタ所デハ、私ハ仰セノ通りノ違ヒガアルト思ヒマス、併シ戰時日本ノ「インフレーション」ノ進行如何、其ノ「インフレーション」ハ詰リ國內ノ經濟秩序ノ保持ガ出來ルカ出來ヌカト云フコトデアリマスルカラ、ソレニ依ツテノ我が國ノ運命如何、勝敗如何ト云フコトデハ、私ハ寸

毫ノ區別ヲ致シテ居リマセウ、一寸速記ヲ御停止願ヒマス

○松村委員長 速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○松村委員長 速記開始

○小野(義)委員 是ハ正面ノ意見ノ相違デアリマセウ、モウ少シ附加ヘタイノデアリマスガ、成程公債ガイカナイ時ハ、社債ダツテ、株式ダツテ萬事休ス、ソレハ一ツノ見方ダト思ヒマス、又サウ云フコトヲ豫想シテ議論スルコトニナリマス、私ノ議論ハ潰滅致シマスカラ、モウ此ノ以上ハ申上ゲヤウガアリマセウ、第一點ノ、モウ少シ増稅ヲ強化サレテハドウカト云フコトニ對シテモ、正面ノ御反對デハナイヤウデアリマス、ソナナコトヲ言ツテ呉レルノハ嬉シイゾト云フ御答デアリマシタ、ソコデ私ハ大藏大臣内心ハモツト強クオヤリナリタイノダラウト思フ、斯ウ云フ所マデ想像ノ言葉ヲ挾ンダ譯デアリマス、速記録ヲ拜見シマス、斯ウ云フ工合ニ仰シヤツテ居ラレマス、而モ昭和十八年度ニ於キマシテハ戰爭情勢ハ是等ノ國民生活ニ又一層ノ努力ト忍苦ヲ、其ノ程度ヲ增加スルノデアルト思フノデアリマス、間ヲ置キマシテ「息苦シクナリマスルコトノ、其ノ呼吸ノ一ツデモ樂ニシ得ルコトガアリマスレバ」ト云フ言葉ガアリマス、是ハ他ノ機會ニ仰セニナツタ所謂政治的考慮ト云フコトデアリマセウ、私大イニ傾聴ノ價值アリトハ思ヒマス、又改正租稅法規ノ中デモ、産業戰士ニハ稅ノ課カラヌ酒ヲ特配スルコト云フヤウニ、今朝中村サシガ指摘サレタ所ノ勞務對策ヲ加ヘラレタ、是ナドハ味ノアルコトト思ヒマス、或ハ營業所得ノ急ニ惡クナツタ者ニハ

手加減スル、洵ニ結構ナコトデアリマスガ、其ノ代リ又擔稅力ノアル所ニハ思ヒ切ツテ納稅セシメルコトハ、私ヤハリ必要デハナカラウカト思ヒマス、オ情ケデハナク、足リナイ所カラ取ラウト云フノハ無理デアルガ、餘ル所カラ取ルト申スノハ、始終政府當局ガ言ハレル通り、二千六百三年、即チ昭和十八年、一九四三年ハ決勝體制ノ年デアアル、「アメリカ」モ生産力ヲ十分ニ擴張シテ、最早今年ガ頂點デアラウ、ソコデ「アメリカ」ハ今マデノ「ストック」ト生産力、其ノ總テヲ舉ゲテ日本ニ突貫シテ來ルダラウ、既ニ「ソロモン」海戰ニ於デアレ程シツコク食ヒ下ツテ居ル、恐ラク謂ハバ天目山ト云フカ、關ヶ原ノ戰爭ト云フカ、サウ云フ覺悟デ「アメリカ」ガ來デ居ル、ソコデ日本トシテモ決勝體制デ國力ノ總テヲ最高限度ニ發揮スルコト云フコト、是ハ政府當局始終仰セニナツテ居ル、大藏大臣ハサウ云フコトヲ仰セニナツタカドウカ知リマセウガ、現ニ今日モ先程商工大臣ガ本會議デ是ト同ジヤウナ言葉ヲ使ツテ居ラレマス、決勝體制下ニ於テ國家ノ總力ヲ例外ナシニ最高度ニ發揮スル、其ノ見地カラ云ヘバ、如何ナル方面ニ於テ來年ヤラウ、今年ハ此ノ程度ニ止メヨウト云フ程度問題ハイカヌノデアリマス、政治デアレ、經濟デアレ、何デアレ、武力ハ勿論ノコトデアルガ、思想戰デモ何デモ最高度ニ發揮スベキモノデアル、ソコデ財產稅デモ設ケテ、取レル者カラ取レト云フヤウナコトガ新聞ニアリマシタガ、財產ノ五割モ取ラレト云フコトニナルト、種ガナクナリマスカラ、來年取ラウトシテモ元ガナイ、親ガナイ、取レナイ、ソレハ是非ナイガ、所得ヲ取ラウト云フノ

デアリマス、來年ハ來年デ又新タニ所得ガ生レルノデアリマス、サウスルトハ元本ヲ食ハナイデ、ズツト續イテ行クノデアリマス、此ノ所得ヲモツト多ク追求スルト云フコトハ、國家總力ヲ最高度ニ發揮スルト云フコトデアラナラバ、財政方面ニ於テ當然然ルベキモノデアナイカ、此ノ點ニ付テモウ一度御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今ノ仰セ御尤モデゴザイマシテ、私モ本年度ハ國家ノ總力ヲ發揮シテアルベキモノデアルト思ヒマス、總力發揮ニ於テドウナルカト申シマス、私ハ今年直接稅ノ増稅ヲシナクテモ、總力發揮ニハ同ジダト思ツテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ、何レ臨時軍事費ノ追加豫算モ出マスカラ全貌ヲ申上ゲルコトニナリマスガ、國家ノ資金面カラ見マシタ總力發揮ニハ極力努メテ居リマス、詰リ簡單ニ言ヘバ、直接稅ヲ總力發揮ニ向ハセルカ、國民貯蓄ノ増強ニ依ツテ總力發揮ニ向ハセルカ、其ノ何レヲ選擇スルカト云フ段階デアリマス、然ラバ何時マデモ國民貯蓄ニ依ツテ行クカ、何モ彼モ何處マデモ行クカ、即チ政府收入デ言ヘバ、公債デ何處マデモ行ケルカト言ヘバ、ソレハ私ハサウハ思ヒマセヌ、ドウシテモ租稅ヲ或ル程度ニ増徴シテ行カナケレバナリマセヌカラ、長クソレデ行ク積リハアリマセヌ、但シ今年度ハ物資、資金、勞力ヲ直接稅デヤリマシタ——或ル程度ヤルト假定致シマシテ同等ノモノヲ國民貯蓄ノ増加デヤリマシタレバ、物的戰力ノ増強ニハ少シモ差異ナク行ケルト云フノガ一ツノ理由デアリマス、他ノ理由ニ相成リマス、昨年直接稅ノ大増稅ヲ致シ、新タニ所得稅ヲ負擔スル階級モ非常ニ殖エテ居リマス、御

承知ノ如ク稅ハ慣熟致シマセヌト、徵稅者、納稅者共ニ事實ニ即シナイ點ガ中々多イノデアリマス、相當國民ノ多數ノ層ニ新タナル徵稅ヲ致シマシテ、此ノ點ニ付テハ新タナル變動ガ起リ、所謂納稅ニハ苦痛ガ伴フモノデアリマスカラ、相當其ノ苦痛ガアル、此ノ點モ事實トシテ否ミ難イ所デアルト思ヒマス、ソレカラ國民全體ト致シマシテ、總力戰ノ結果、生活ノ全方面ニ、戰時ノ要請ニ基キマシテ、前ニモ申上ゲタ如ク、今御示シガアリマシタ如ク、非常ナル努力ト苦痛ヲ伴フモノデアリマス、而モ其ノ努力ハ、今年ハ空襲ニ致シマシテモ、昨年ノ如ク一回限り、輕微ナモノデアルト云フコトハ、到底吾々ノ覺悟トシテハ左様ナコトデハ濟ミマセヌ、色々ノ方面デ國民ハ非常ナル苦痛デアアル、貯蓄ノ必要ナル増加モ必ズ十七年度ヨリ十八年度ノ方ガ増加スルト思ヒマス、間接稅モ非常ニ上リマシテ、國民ノ生計ニ差向ケマス金ハ非常ニ増加シ、凡ユル部面ニ於テ國民ハ其ノ感觸ノ上ニ於テ非常ナ苦シサガ多イト思ヒマス、然リトスレバ、今年ノ戰力發揮ニ、直接今年ヤラナケレバ完成出來ナイト云フコトデナケレバ——其ノ點ハ總進軍ヲスル際ノ、途中ノホシノ煙草一本ニ過ギマセヌガ、或ハ路上ニ腰ヲ掛ケテノ數分間ノ休憩ニ過ギマセヌガ、是ハ政治全體トシテ致シタ方ガ宜イト云フ考ヘデ、サウ云フコトヲ申シテハ恐入リマスガ、私増稅ヲドウスルカト云フ直感ノ第一ニソレガ參リマシタ、今申上ゲマシタノハ、寧ろ其ノ直感ヲ後カラ解剖シテ見タ所デアリマス、尙ホ一方ソレニ致シマシテモ直接稅ト間接稅ノ比率ノ問題ハ、詰リ從來ノ觀念ノ間接稅ニ於キマシテハ、擔稅

力ニ非常ニ副ハザル點ガ多イノデアリマス、富者ニモ貧者ニモ一律ニ課カルト云フ點ガ多イノデアリマス、其ノ點ノ内容等ヲ考ヘテ見マスル時ニ、一面昨年ノ直接稅ト増稅ト云フモノハ相當急激ナモノデアリマシテ、直接稅ト間接稅ノ比率ニ於キマシテ、寧ろ日本ハ昨年ダケノ數字ノ面カラハ直接稅ニ重ク課カリ過ギテ居ルトモ見ラレル數字デアリマス、今年ノ間接稅ノ引上ヲ致シマシタ後ヲ比較致シマス、是ハ英獨米ナドニ較ベマシテ、日本ガ直接稅ノ方ニ餘計課カツテ居ルト云フコトニハ無論ナリマセヌガ、唯今回引上ゲマシタ間接稅ノ内容ト云フモノハ、主トシテ戰時下ニ於テ新タニ發達致シマシタ遊興飲食稅、物品稅ト同ジヤウナ性質ノ行爲稅、特別行爲稅ト云フ方面ガ非常ニ伸ビテ居リマス、ソレハ一律ノ間接稅ニアラズシテ、所得ノ多イ者ガ爲シ得ル消費又ハ行爲、擔稅力ガ伴ヒマスル者ノ行爲、消費等ニ高率ノ課稅ヲ致スト云フコトニ相成ツテ居リマス、又酒ニ付キマシテモ從來ハ專賣制度ヲ布クニアラズンバ實行シ難イカノ如ク考ヘラレマシタガ、今回酒ノ品質ノ程度ニ應ジテ稅率ニ非常ナ差等ヲ設ケマシタ、是亦或ル意味デ所得能力、擔稅能力ニ應ズルモノデアリマス、間接稅トハ申シナガラ、煙草ノ値上ニ致シマシテモ、非常ニ直接稅ノ色彩ガ強イ行キ方デアリマス、此ノ點ガ單純ナル間接稅ノ從來ノ比率デハ寧ろ行カナイ、稅負擔ノ上カラ言ヘバ私ハ直接稅の間接稅デアルト思ヒマス、ソレガ一點デアリマス、併シサウ申シマシテモ、ソレハ所得ガアツテモ斯カル消費ヲ爲サザリセバ、行爲ヲ爲サザリセバ課カラナイノデハナイカト云フコトニモ相成リマスルガ、

併シ現在ニ於キマシテハ所得ガ多クシテ斯カル奢侈的行爲ヲシナイデ置キマス場合ニハ、其ノ資金ハ全部蓄積ニ向ヒマシテ、是ガ公債其ノ他ノ財源トナリ、生産擴充資金ノ財源トナリマシテ、戰力増強ニ全幅ノ役ニ立チマス譯デアリマス、唯稅トシテ殘ル問題ハ所謂富ノ配分等ノ觀點カラ致シマス、ソレハ不十分カモ知レマセヌ、現下ノ要請ニ十分ニ應ズル點、斯様ナ點ヲ考慮致シマシテ、今回ハ十八年度ニ於テ直接稅ノ増稅ヲ行ハズ、今申上ゲタヤウナ間接稅ノ増稅ニスル斯ウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○小野(義)委員 可成リ能ク了解致シマシタ、所デ先程御話ノ中ニ貧富ノ懸隔、斯ウ云フ風ニ取レル御言葉ガアツタノデアリマス、成程金持デナケレバ直接稅の物品稅ヲ拂ヘナイ、納メルコトガ出來ナイ、ソレニ依ツテ其ノ富豪ノ富ガ吸收サレルト云フコト、是ハ御尤モデスケレドモ、又大臣御自身デキニ仰シヤル通りニ其ノ富豪ガ物ヲ買ナハケレバソレマデダ、ソレハ強制サスノダト云フノデスガ、儲テ強制的ナ貯蓄方法ヲサスノダト云ツテモ、一體金持ガ政府ノ言フ通りニナリマスカ、ソコデ私ハムジカシイト思ヒマス、妙ニ社會主義、共產主義メイタコトヲ申サユデアリマスガ、富豪ガ女中ナリ何ナリヲ出シテ野菜トカ、酒ナドノ配給ヲ求メニ行キマスカドウカ、私ノ知ル範圍ニ於テハ一向見エナイ、昨日總理ノ言ハレタヤウニ閣取引ト云フモノハ重大デアアル、チヤント持ツテ行クノデス、早イ話ガ、例ヘバ刺身ナドト云フモノハ吾々ノ家庭ニハ全然入りマセヌ、明ケテ昨年カラ入りマセヌ、料理屋ニハイッデモ入ル、料理屋ノミデハナ

イ、富豪ノ所ヘモチヤント入ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ事實ガアリマス、貯蓄ヲ若シ強制ナレバソレハ逃ゲルコトハ出来ナイ、強制デナイ限りハソレハアタノ希望ニ止マツテ現實化サレナイ部分ガ、相當多クナルノデハナイカ、今日ハ金ガアツタツテ物ガ不足デアリマスシ、贅澤ハ許サレナイ、物見遊山モ出来ナイ、富豪ガカラト居ツテ始終料理屋ヘ行ツテ、澤山ノ藝妓ノ花代ヲ上ゲテ金ヲ散ズル譯デモナイ、貯蓄ト云フコトハ勿論所謂購買力ノ吸收ニハナリマスケレドモ、又拂戻シ等モ見込マナケレバナラス、サウシタラ購買力ノ吸收ニハナラナイ、是ハヤハリ端の購買力ヲ吸收スルニハ租税ガ一番宜イ、サウ云フ點ニ於テ租税ノ強化ヲ願ヒタイト云フコトデアリマスガ、結局意見ノ相違デアリマシテ、是レ以上ハ申上ゲマセヌ、私ハココ等デ止メテ置キマシテ、尙ホ大臣ノ將來ノ御健闘ヲ御祈リ申シテ終リマス

シテ、間接税中心ノ増税案ヲ出シタカト云フハツキリシタ考ヘ方ヲ御示シニナルコトガ、聽テハ來年、再來年ニ於ケル増税案其ノモノノ一ツノ基礎的觀念ニナルガラウト思ヒマス、小野サント大臣トノ質疑應答ノ本會議ニ於ケル速記デハ十分私達ハ納得ガ行カナイ、アレデハ餘リ理由ガ弱イノデハナイカト思ヒマス、其ノ點ニ於テ大藏大臣ハ少シモ觸レテ居ラス、ソレハ大藏大臣ノ財政演說中ニ於ケル租税政策ト經濟政策ノ調和ト云フコトデアル、是ハ斯ウ云フ御考ヘデハアリマセヌカ、國家經濟ノ要求ハ租税政策ヲ或ル程度制約スルト云フヤウナ考ヘ方デハナイカト思フノデアリマスガ、先ツソレカラ御伺ヒ致シマス

シテ參リマスル爲ニ、何レノ政策モ尖鋭ト申シマスカ、大キクナツタト申シマスカ、ドン／＼突ツ込ンデ參リマシテ、隨ツテ直グ競合面ガ出デ參リマス、租税デモ輕イ中ハ別ニ問題ハ起ラナイノデスガ、重クナリマスルガ故ニ、非常ニ問題ガ多クナル、是ガ臨時措置法ナドガ起リマシタ原因デアルト私ハ思ヒマス、言葉ハ少シ惡イデスガ、何レノ政策モ尖鋭化シテ參リマシテ、其ノ調節ガ要ル譯デアリマス、今回ノ臨時措置法モ、サウ云フ面ニ於キマシテ租税ノ方カラ言ヘバ利子ニ對シテモツト課税ヲシタイ、併シ國民貯蓄ノ面カラ言ヘバ斯ウ云フ態樣ノモノニ付テハ利子ノ輕減或ハ免除ヲシタイ、又産業再編成ノ立場カラ申シマスレバ、其ノ苦痛ヲ緩和シテ、是等ノ要求ハドウシテモ或ル程度取入レナケレバナラスノデ取入レタ次第デアリマス

ナイカ、斯ウ云フ點ヲ一ツ見テミル、即チ軍需産業ハ國家目的達成ノ最端ニアルモノデアル、今日此ノ軍需産業ガ後退スルナラバ決戦ニハ勝テナイ、斯ウ言ツタ場合ニ於テハ、成程是等ニ負擔能力ハアツテモ一層生産力ノ緊急増強ヲ圖ル爲ニ直接税ハ据置カカ或ハ寧ロ輕減シテモ宜シイ、即チ國家價值乃至ハ國家目的ニ合ツタ事業、消費、財産ハ寧ロ税ヲ据置クカ減ラシテ宜シイ、逆ニ國家目的達成ニ反シタ、又遠イ所ノ消費、所得、財産ニ對シテハ思ヒ切ツタ重課ヲスルコトガ戰爭増税ノ新シイ行キ方デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、之ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ承ルコトガ出来レバ洵ニ幸ヒデゴザイマス

○松村委員長 中村君
○中村(三)委員 戰爭經濟財政増税ト云フコトハ、不可分デアアル、是ハ大藏大臣モ御認メニナツテ居ルト思ヒマス、故ニ大藏大臣御就任以來財政需要ニ應ズベキ機會毎ニ増税ヲセラレタノデアラウト思ヒマス、唯問題ハ如何ナル方面ニ如何ナル内容ヲ以テ戰爭増税ヲ行フカニアルト私ハ思ヒマス、今回ノ増税案ニ於テ間接税ヲ中心トシテ直接税ニ觸レナカツタト云フコトハ私ハ之ニ同意スルモノデアアル、大藏大臣ノ案其ノモノニ對シマシテハ吾々ハ之ヲ是認スルモノデアリマス、唯卒直ニ云ヘバ或ハ一年カ二年遅レタニ過ギナイト云フコトニナルガラウト思ヒマス、ソコデ何ガ故ニ直接税ニ手ヲ觸レズ

シテ、間接税中心ノ増税案ヲ出シタカト云フハツキリシタ考ヘ方ヲ御示シニナルコトガ、聽テハ來年、再來年ニ於ケル増税案其ノモノノ一ツノ基礎的觀念ニナルガラウト思ヒマス、小野サント大臣トノ質疑應答ノ本會議ニ於ケル速記デハ十分私達ハ納得ガ行カナイ、アレデハ餘リ理由ガ弱イノデハナイカト思ヒマス、其ノ點ニ於テ大藏大臣ハ少シモ觸レテ居ラス、ソレハ大藏大臣ノ財政演說中ニ於ケル租税政策ト經濟政策ノ調和ト云フコトデアル、是ハ斯ウ云フ御考ヘデハアリマセヌカ、國家經濟ノ要求ハ租税政策ヲ或ル程度制約スルト云フヤウナ考ヘ方デハナイカト思フノデアリマスガ、先ツソレカラ御伺ヒ致シマス

シテ參リマスル爲ニ、何レノ政策モ尖鋭ト申シマスカ、大キクナツタト申シマスカ、ドン／＼突ツ込ンデ參リマシテ、隨ツテ直グ競合面ガ出デ參リマス、租税デモ輕イ中ハ別ニ問題ハ起ラナイノデスガ、重クナリマスルガ故ニ、非常ニ問題ガ多クナル、是ガ臨時措置法ナドガ起リマシタ原因デアルト私ハ思ヒマス、言葉ハ少シ惡イデスガ、何レノ政策モ尖鋭化シテ參リマシテ、其ノ調節ガ要ル譯デアリマス、今回ノ臨時措置法モ、サウ云フ面ニ於キマシテ租税ノ方カラ言ヘバ利子ニ對シテモツト課税ヲシタイ、併シ國民貯蓄ノ面カラ言ヘバ斯ウ云フ態樣ノモノニ付テハ利子ノ輕減或ハ免除ヲシタイ、又産業再編成ノ立場カラ申シマスレバ、其ノ苦痛ヲ緩和シテ、是等ノ要求ハドウシテモ或ル程度取入レナケレバナラスノデ取入レタ次第デアリマス

ナイカ、斯ウ云フ點ヲ一ツ見テミル、即チ軍需産業ハ國家目的達成ノ最端ニアルモノデアル、今日此ノ軍需産業ガ後退スルナラバ決戦ニハ勝テナイ、斯ウ言ツタ場合ニ於テハ、成程是等ニ負擔能力ハアツテモ一層生産力ノ緊急増強ヲ圖ル爲ニ直接税ハ据置カカ或ハ寧ロ輕減シテモ宜シイ、即チ國家價值乃至ハ國家目的ニ合ツタ事業、消費、財産ハ寧ロ税ヲ据置クカ減ラシテ宜シイ、逆ニ國家目的達成ニ反シタ、又遠イ所ノ消費、所得、財産ニ對シテハ思ヒ切ツタ重課ヲスルコトガ戰爭増税ノ新シイ行キ方デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、之ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ承ルコトガ出来レバ洵ニ幸ヒデゴザイマス

○中村(三)委員 戰爭經濟財政増税ト云フコトハ、不可分デアアル、是ハ大藏大臣モ御認メニナツテ居ルト思ヒマス、故ニ大藏大臣御就任以來財政需要ニ應ズベキ機會毎ニ増税ヲセラレタノデアラウト思ヒマス、唯問題ハ如何ナル方面ニ如何ナル内容ヲ以テ戰爭増税ヲ行フカニアルト私ハ思ヒマス、今回ノ増税案ニ於テ間接税ヲ中心トシテ直接税ニ觸レナカツタト云フコトハ私ハ之ニ同意スルモノデアアル、大藏大臣ノ案其ノモノニ對シマシテハ吾々ハ之ヲ是認スルモノデアリマス、唯卒直ニ云ヘバ或ハ一年カ二年遅レタニ過ギナイト云フコトニナルガラウト思ヒマス、ソコデ何ガ故ニ直接税ニ手ヲ觸レズ

シテ、間接税中心ノ増税案ヲ出シタカト云フハツキリシタ考ヘ方ヲ御示シニナルコトガ、聽テハ來年、再來年ニ於ケル増税案其ノモノノ一ツノ基礎的觀念ニナルガラウト思ヒマス、小野サント大臣トノ質疑應答ノ本會議ニ於ケル速記デハ十分私達ハ納得ガ行カナイ、アレデハ餘リ理由ガ弱イノデハナイカト思ヒマス、其ノ點ニ於テ大藏大臣ハ少シモ觸レテ居ラス、ソレハ大藏大臣ノ財政演說中ニ於ケル租税政策ト經濟政策ノ調和ト云フコトデアル、是ハ斯ウ云フ御考ヘデハアリマセヌカ、國家經濟ノ要求ハ租税政策ヲ或ル程度制約スルト云フヤウナ考ヘ方デハナイカト思フノデアリマスガ、先ツソレカラ御伺ヒ致シマス

シテ參リマスル爲ニ、何レノ政策モ尖鋭ト申シマスカ、大キクナツタト申シマスカ、ドン／＼突ツ込ンデ參リマシテ、隨ツテ直グ競合面ガ出デ參リマス、租税デモ輕イ中ハ別ニ問題ハ起ラナイノデスガ、重クナリマスルガ故ニ、非常ニ問題ガ多クナル、是ガ臨時措置法ナドガ起リマシタ原因デアルト私ハ思ヒマス、言葉ハ少シ惡イデスガ、何レノ政策モ尖鋭化シテ參リマシテ、其ノ調節ガ要ル譯デアリマス、今回ノ臨時措置法モ、サウ云フ面ニ於キマシテ租税ノ方カラ言ヘバ利子ニ對シテモツト課税ヲシタイ、併シ國民貯蓄ノ面カラ言ヘバ斯ウ云フ態樣ノモノニ付テハ利子ノ輕減或ハ免除ヲシタイ、又産業再編成ノ立場カラ申シマスレバ、其ノ苦痛ヲ緩和シテ、是等ノ要求ハドウシテモ或ル程度取入レナケレバナラスノデ取入レタ次第デアリマス

ナイカ、斯ウ云フ點ヲ一ツ見テミル、即チ軍需産業ハ國家目的達成ノ最端ニアルモノデアル、今日此ノ軍需産業ガ後退スルナラバ決戦ニハ勝テナイ、斯ウ言ツタ場合ニ於テハ、成程是等ニ負擔能力ハアツテモ一層生産力ノ緊急増強ヲ圖ル爲ニ直接税ハ据置カカ或ハ寧ロ輕減シテモ宜シイ、即チ國家價值乃至ハ國家目的ニ合ツタ事業、消費、財産ハ寧ロ税ヲ据置クカ減ラシテ宜シイ、逆ニ國家目的達成ニ反シタ、又遠イ所ノ消費、所得、財産ニ對シテハ思ヒ切ツタ重課ヲスルコトガ戰爭増税ノ新シイ行キ方デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、之ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ承ルコトガ出来レバ洵ニ幸ヒデゴザイマス

第六類第一號 臨時利得税法中改正法律案外十一件委員會會議錄 第二回 昭和十八年二月二日

シテ參リマスル爲ニ、何レノ政策モ尖鋭ト申シマスカ、大キクナツタト申シマスカ、ドン／＼突ツ込ンデ參リマシテ、隨ツテ直グ競合面ガ出デ參リマス、租税デモ輕イ中ハ別ニ問題ハ起ラナイノデスガ、重クナリマスルガ故ニ、非常ニ問題ガ多クナル、是ガ臨時措置法ナドガ起リマシタ原因デアルト私ハ思ヒマス、言葉ハ少シ惡イデスガ、何レノ政策モ尖鋭化シテ參リマシテ、其ノ調節ガ要ル譯デアリマス、今回ノ臨時措置法モ、サウ云フ面ニ於キマシテ租税ノ方カラ言ヘバ利子ニ對シテモツト課税ヲシタイ、併シ國民貯蓄ノ面カラ言ヘバ斯ウ云フ態樣ノモノニ付テハ利子ノ輕減或ハ免除ヲシタイ、又産業再編成ノ立場カラ申シマスレバ、其ノ苦痛ヲ緩和シテ、是等ノ要求ハドウシテモ或ル程度取入レナケレバナラスノデ取入レタ次第デアリマス

シテ參リマスル爲ニ、何レノ政策モ尖鋭ト申シマスカ、大キクナツタト申シマスカ、ドン／＼突ツ込ンデ參リマシテ、隨ツテ直グ競合面ガ出デ參リマス、租税デモ輕イ中ハ別ニ問題ハ起ラナイノデスガ、重クナリマスルガ故ニ、非常ニ問題ガ多クナル、是ガ臨時措置法ナドガ起リマシタ原因デアルト私ハ思ヒマス、言葉ハ少シ惡イデスガ、何レノ政策モ尖鋭化シテ參リマシテ、其ノ調節ガ要ル譯デアリマス、今回ノ臨時措置法モ、サウ云フ面ニ於キマシテ租税ノ方カラ言ヘバ利子ニ對シテモツト課税ヲシタイ、併シ國民貯蓄ノ面カラ言ヘバ斯ウ云フ態樣ノモノニ付テハ利子ノ輕減或ハ免除ヲシタイ、又産業再編成ノ立場カラ申シマスレバ、其ノ苦痛ヲ緩和シテ、是等ノ要求ハドウシテモ或ル程度取入レナケレバナラスノデ取入レタ次第デアリマス

ナイカ、斯ウ云フ點ヲ一ツ見テミル、即チ軍需産業ハ國家目的達成ノ最端ニアルモノデアル、今日此ノ軍需産業ガ後退スルナラバ決戦ニハ勝テナイ、斯ウ言ツタ場合ニ於テハ、成程是等ニ負擔能力ハアツテモ一層生産力ノ緊急増強ヲ圖ル爲ニ直接税ハ据置カカ或ハ寧ロ輕減シテモ宜シイ、即チ國家價值乃至ハ國家目的ニ合ツタ事業、消費、財産ハ寧ロ税ヲ据置クカ減ラシテ宜シイ、逆ニ國家目的達成ニ反シタ、又遠イ所ノ消費、所得、財産ニ對シテハ思ヒ切ツタ重課ヲスルコトガ戰爭増税ノ新シイ行キ方デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、之ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ承ルコトガ出来レバ洵ニ幸ヒデゴザイマス

カラト言ツテサウ云フコトニ構ハスト、國家ニ御奉公スル國民ガ、軍隊デモサウデア
ルト思ヒマスガ、力ヲ使ヒ果シテ御奉公ガ
出來ナクナリマスカラ、其ノ意味ニ於キマ
シテ御奉公ノ力ヲ養フ爲ニモヤハリ應能原
則ト云フモノヲ出來ルダケ考ヘテ行カナケ
レバナライ、唯ソレ一點張りデ、負擔ノ
公平ノミデ物事ガ進マナイト云フ所ニ問題
ガアリマス、考ヘ方トシテハ應能原則ハヤ
ハリ大事デアルト思ツテ居リマス、サウ云
フヤウニ致シマシテ戰爭目的完遂ノ爲ニ最
前線ニ進ムベキ者ニ對シテ出來ルダケソレ
ヲ鼓舞シ激勵シ、是ガ進メルヤウニスルト
云フコトハ、是ハ萬全ヲ期シテ其ノ方策ヲ
進メナケレバナリマセヌ、併シナガラ軍需
産業ニ於テ唯租稅ヲ輕減シ、金錢の利益ガ
多イカラ産業ガ進ム、斯ウ云フ考ヘ方デ私
ハ行カヌデモ宜シイ、又軍需産業ニ於テモ
利益ガアレバソレハ納付シテ宜シイト思ヒ
マス、又戰時ニ於テハ殆ド直接力、或ハ非
常ニ間接デモ、直接ニ近イ生産方面ニ凡ニ
ルモノガ集中スルモノデアリマス、是ガ皆
無稅ニナレバ殆ド是ハ稅金ヲ取ル餘地ガナ
イコトニナリハセヌカ、ソレヲ阻碍スルコ
トハ宜シクアリマセヌケレドモ、適當ニ負
擔力ヲ上ゲルト云フコトハ必要デアリマス、
唯ソレガ産業ノ再編成ノ如ク國家ノ政策ノ
要請ニ依リマシテ、從來ノ事業ヲ廢メナケ
レバナラス、非常ニ收入ノ激減ガアル、斯ウ
云フ人々ニ對シマシテ、唯從來ノ租稅ノ制
度ノ延長其ノモノニ依ツテ機械の課シテ
行クト云フコトハ、是ハ容赦スベキモノデ
アルト思ヒマスノデ、斯様ナ意味ニ於キマ
シテモ臨時調整ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ナ
考ヘ方ヲ致シタイト思ヒマス

○中村(三)委員 サウシマスト應能原則
ハ自分ハ動カサナイ、斯ウ云フ御意見デア
リマスカ——然ラバ來年直接稅ニモ手ヲ御
觸レニナラナケレバナラス、今年御觸レニ
ナラナイト云フコトハ、一寸一年延バシタ
ト云フ風ニ解釋ガ出來ルノデアリマスルガ、
腹藏ナク其ノ邊ヲハツキリシテ戴キタイト
思ヒマス

○賀屋國務大臣 是ハ本會議ニ於キマシテ
モ、先程ノ小野委員ノ御質問ニ對シマシテ
モ御答申上ゲマシタヤウニ、直接稅ノ増稅
ト云フモノハ是カラモ私ハアルト思ヒマス、
又致サナケレバナラスト思ヒマス、本年
ハ致シマセスト云フコトハ申上ゲマシタノ
デアリマス、來年致スカ致サヌカ、是ハ只
今明言ハ出來マセヌガ、直接稅ノ増稅ト云
フモノハアルモノダト、又必ズナスベキ時
機ガアルト私ハ考ヘテ居リマス

○中村(三)委員 財政需要ハ十九年度ニ於
テ直接稅ニ手ヲ觸レザルヲ得ザル狀態ニ至
ルト云フコトハ何人モ認ムル所デアリマス、
其ノ時ニハ大藏大臣ハ善處セラレラデアラ
ウト思ヒマシテ私ハ此ノ程度ニ止メ、多少
ノ餘裕ヲ殘シテ置キマス、ソコデ大藏大臣
ノ間接稅中心ノ増稅ト云フコトハ、私ノ言
フ是等ノ間接稅ガ國家目的達成ニ付テハ遠
イモノデアリ、不要不急ノモノデアル、或
ハ贅澤ノモノデアルト言ツタヤウナ考ヘ方
ガ茲ニ現ハレテ居ルノデハナイカト思フノ
デゴザイマスガ、是等ノ消費稅重課ニ付テ
ノ原則、御考ヘ方ハ私ガ今解釋シテ居ルヤ
ウナコトデハナイカト思ヒマスガ……

○賀屋國務大臣 大體御話ノヤウダト思ヒ
マス
○中村(三)委員 分リマシタ、ソコデ稅率ノ

問題デスガ分類所得稅ハ何時モ稅率ニ彈力
性ガ附ケテアル、消費稅ハドン／＼稅率デ
以テ上ゲテ行クガ、マサカ之ヲ百分ノ千ニ
スルト云フコトモ出來ナイダラウ、茲ニ稅率
ト云ラモノノ限界點ガ出テ來ルンデヤナイ
カト思ヒマス、私ハ消費稅ニ於テハ限界點
ハナイト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、
所得稅ヲ百分ノ百取ツテ某敵國ノ如ク賣食
ヒサスト云フ行キ方デ行クカ、是ハ將來ノ
問題デアリマスガ、私ハ稅率ヲウント上ゲ
ルト云フコト、ソレガ聽テハ限界點ト云フ
モノニ到着スル、若シ其ノ限界點ヲ破ツテ
行クト云フナラバ、消費ニ關スル事業製造
ハ禁止乃至ハ制限スルト云フ行キ方ヲスル
コトガ統制經濟ノ私ハヤリ方デハナイカト
思ノデアリマスガ、是等ニ付テ御考ヘテ一
ツハツキリサシテ戴キタイ

○賀屋國務大臣 戰時ニ於キマシテハ總生
産力ヲ戰爭ニ勝ツ爲ニ兵器彈藥其ノ他是等
ノ輸送、斯カルモノノ生産力ノ増強ニ集中
致シマシテ、又國民ガ健康ヲ維持シ、必要
ナル教育ヲ受ケテ行キマス此ノ最低限度ヲ
維持スルト云フ以外ノモノハ之ヲ舉ゲテ國
民生活ノ確保ト直接戰力ノ増強ニ向ケル必
要ガアルト思ヒマス、此ノ觀點ヨリ或ハ製
造ヲ全然禁止スル、或ハ其ノ製造事業ニ使
用スル勢力、資材ヲ制限スル、斯様ナコト
ハソレ／＼ノ場面ニ依ツテ必要デアルト思
ヒマス、ソレハ今ノ資材全體ノ計畫、又國
民ノ生活面、其ノ外ノ判斷カラ參リマシテ、
只今稅ヲ課ケテ居リマスモノハ、只今ト致
シマシテハ、其ノ製造ヲ禁止シナイモノニ
付テ、或ハ全然其ノ行爲ヲ禁止シナイモノ
ニ課ケテアリマス、斯カルモノハ禁止スル
カト云フコトハ、又別ノ觀點カラ研究ヲシ

テ決定スベキ問題デアラウト思ヒマス、私
ハ是ハ抽象的ニ申上ゲテ居ルノデ、只今ノ
課稅ノ客體ニ付テドウスルカト云フコトノ
具體問題ヲ今申上ゲテ居ル譯デヤナイノデ
アリマス

○中村(三)委員 午前中主稅局長ノ私ノ質
問ニ對スル御答ヘハサウデヤナカタノデ
スガ御答ヘニ依ツテ私ノ解釋スル所ニ依リ
マス、物品稅ト今回ノ特別行爲稅ト云フ
モノハ竝ンデ居ル、竝ンダモノヲ集メマス
ルト、主稅局長ノ御説明ニ依レバ課稅段階
ハ三ツ位ノモノガアルト云フコトデアル、
サウスルト特別行爲稅ト物品稅ト云フモノ
ハ、近キ將來ニ於テ、所謂一般取引稅ノ形
ニ合體統合セラレテ行クモノデハナイカ、斯
ウ云フ風ニ私ハ見ルノデゴザイマスガ、是
等ニ關スル、即チ一般取引稅ト云フモノニ
對スル大藏大臣ノ御考ヘテ茲ニシツカリ承
リタイノデゴザイマス

○賀屋國務大臣 特別行爲稅ト物品稅ガ合
體スルカドウカ、是ハ只今ノ所デハ別ノ稅
法デヤツテ居リマス、將來ノコト今後ノ發
展ニ俟ツノデアリマシテ、只今私ハ何トモ
申上ゲル考ヘハアリマセヌ、一般取引稅
ニ付キマシテハ、實ハ其ノ内容ニ依ルコトデ
アリマシテ、見方ニ依リマシテハ、只今ノ
物品稅、特別行爲稅ノ如キモノハ非常ニ廣
クナツテ居リマシテ、一般取引稅トモ考ヘ
ラレテ宜イト云フ點モアリマス、唯是ガ如
何ナル行爲、消費ニ付テモ稅率ハ一本デア
リ、徵稅ノ容易ナル點ニ着眼シマシテ、重
複課稅ノ結果トナツテモ宜シイカドウカ、斯
ウ云フ點ニ關シテハ餘程研究ノ餘地ガアル
ト思ヒマス、一般取引稅ト申シマシテモ、
其ノ内容如何ニ依ツテ非常ニ違フト思ヒマ

○賀屋國務大臣 特別行爲稅ト物品稅ガ合
體スルカドウカ、是ハ只今ノ所デハ別ノ稅
法デヤツテ居リマス、將來ノコト今後ノ發
展ニ俟ツノデアリマシテ、只今私ハ何トモ
申上ゲル考ヘハアリマセヌ、一般取引稅
ニ付キマシテハ、實ハ其ノ内容ニ依ルコトデ
アリマシテ、見方ニ依リマシテハ、只今ノ
物品稅、特別行爲稅ノ如キモノハ非常ニ廣
クナツテ居リマシテ、一般取引稅トモ考ヘ
ラレテ宜イト云フ點モアリマス、唯是ガ如
何ナル行爲、消費ニ付テモ稅率ハ一本デア
リ、徵稅ノ容易ナル點ニ着眼シマシテ、重
複課稅ノ結果トナツテモ宜シイカドウカ、斯
ウ云フ點ニ關シテハ餘程研究ノ餘地ガアル
ト思ヒマス、一般取引稅ト申シマシテモ、
其ノ内容如何ニ依ツテ非常ニ違フト思ヒマ

○賀屋國務大臣 特別行爲稅ト物品稅ガ合
體スルカドウカ、是ハ只今ノ所デハ別ノ稅
法デヤツテ居リマス、將來ノコト今後ノ發
展ニ俟ツノデアリマシテ、只今私ハ何トモ
申上ゲル考ヘハアリマセヌ、一般取引稅
ニ付キマシテハ、實ハ其ノ内容ニ依ルコトデ
アリマシテ、見方ニ依リマシテハ、只今ノ
物品稅、特別行爲稅ノ如キモノハ非常ニ廣
クナツテ居リマシテ、一般取引稅トモ考ヘ
ラレテ宜イト云フ點モアリマス、唯是ガ如
何ナル行爲、消費ニ付テモ稅率ハ一本デア
リ、徵稅ノ容易ナル點ニ着眼シマシテ、重
複課稅ノ結果トナツテモ宜シイカドウカ、斯
ウ云フ點ニ關シテハ餘程研究ノ餘地ガアル
ト思ヒマス、一般取引稅ト申シマシテモ、
其ノ内容如何ニ依ツテ非常ニ違フト思ヒマ

○賀屋國務大臣 特別行爲稅ト物品稅ガ合
體スルカドウカ、是ハ只今ノ所デハ別ノ稅
法デヤツテ居リマス、將來ノコト今後ノ發
展ニ俟ツノデアリマシテ、只今私ハ何トモ
申上ゲル考ヘハアリマセヌ、一般取引稅
ニ付キマシテハ、實ハ其ノ内容ニ依ルコトデ
アリマシテ、見方ニ依リマシテハ、只今ノ
物品稅、特別行爲稅ノ如キモノハ非常ニ廣
クナツテ居リマシテ、一般取引稅トモ考ヘ
ラレテ宜イト云フ點モアリマス、唯是ガ如
何ナル行爲、消費ニ付テモ稅率ハ一本デア
リ、徵稅ノ容易ナル點ニ着眼シマシテ、重
複課稅ノ結果トナツテモ宜シイカドウカ、斯
ウ云フ點ニ關シテハ餘程研究ノ餘地ガアル
ト思ヒマス、一般取引稅ト申シマシテモ、
其ノ内容如何ニ依ツテ非常ニ違フト思ヒマ

○中村(三)委員 消費税率ト云フコトモ考

ヘラレマスガ、例ヘバ消費税率デ百分ノ百ヲ取ルヨリモ取引税率デ百分ノ三十位取ツテ三回轉サシテソレ宜イデヤナカ、是ハ將來ノ議論ニナリマスガ、茲ニ私共考ヘル必要ガアルノデヤナカト思フノデアリマス、更ニ私ハ是ハ大藏大臣ニ御伺ヒシナケレバナラヌノデアリマスルガ、日支事變以來度々ノ間接税ノ増徴ト云フコトガ、ドウ云フ風ニ國民ニ刺戟ヲ與ヘタドウカ知リマセヌガ、増徴實施前ニ稅脫ケ、買漁リ、買溜ト云フモノガ相當強クアツタ、是ハ潜在購買力ガ機會ヲ得テ勃發シテ居ルト私ハ見ルノデアリマス、此ノ恐レベキ潜在購買力ノ稅脫ケノ行爲ニ對シマシテハ、モウハ貯蓄ヲ説イテモ、節約ヲ説イテモ、其ノ殺倒スル力ノ前ニハ無益デアル、是ハ一昨年ノ例ニ依ツテ明カデアリマス、一昨年ノ間接稅増徴前ニ於ケル所ノ思ムベキ傾向、是ハ夙ニ何等カノ徹底の處置ヲサナナケレバナラナカツタ管デアリマス、之ニ付テ私ハ二ツノ意見ヲ持ツテ居リマスガ、是ハマダサウ云フ案モ出テ居ラナケレバ、又サウ云フコトガ提案サレテ居ラナイ、私ノ意見ハ稅法ニ於テ變更權ヲ與ヘルカ、或ハ國家總動員法ニ於テ之ヲ斷行スルト云フ二ツデアリマスガ、是ハ姑ク措キマス、案ガ出テ居リマセヌ、併シナガラ現在起リツツアル、或ハ大キナ聲デ言フ程、サウ云フ風ニナルノデハナイカト思ヒマスガ、政治家トシテ言ハザルヲ得ナイ、私共ノ耳ニシテ居ル點ハモウ隨分アル、ソコデ速カニ消費稅ダケ實施セヨ、抜打的ニ早ク議會ヲ通シテ實施セヨ、ソシテ其ノ場合ハ販賣上ニ於テ或ル程

度ノ制限ヲ加ヘル、或ハ或ル一定期間停止ナスツテモ宜シイ、或ハ金額デ言ヘバ少イモノダト云フヤウナ結論ガ出ルカモ知レヌガ、私ハ金額ダケノ問題デナク、全體ノ問題トシテ斯ウ云ツタヤウナ消費稅ガ上セラレル場合ニ、稅拔ケ、買漁リ、買溜ガ出ルト云フコトハ、戰爭經濟運行ノ上ニ非常ナ妨ゲニナル、之ヲ政府ハ見テ居ツテハイケナイ、政治家ハ見テ居ツテハイケナイ、斷平タル處置ヲ執ル必要ガアルノデハナイカト思フ、現ニ郵便貯金ガ之ニ依ツテ引出サレテ減ツテシマフナラバ、折角大藏大臣ガ昨年以來街頭ニ立ツテ叫バレル貯蓄運動モ是ガ爲ニ非常ナ禍ヒヲ受ケルト云フコトニナラザルヲ得ナイノデス、此ノ點ニ於キマシテ私ハ大藏大臣ノ率直ナル御考ヘヲ承リタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 總理モ度々申シテ居リマ

スシ、私共ノ考ヘハ眞ニ國民ガ大東亞戰爭ト云フ本當ニ文字通り國家ノ興亡、世界ノ運命ヲ決スベキ戰爭ヲ勝抜ク爲ニ必要ナル心構ヘト云フモノガ國民ノ肚ノ中カラ湧キ起ラナケレバ戰爭ニ勝テナイト思ヒマス、ソレガ大事デアルト思ヒマス、其ノ自覺ガ徹底致シマスルナラバ、消費稅ガ上ルカラ上ラヌ前ニ買溜ヲシヨウト云フ不心得ナコトハ私ハ非常ニ減少ヲシテ行クベキモノダト思ヒマス、ソレガ減少シテ行クヤウナ心構ヘガアリマセヌケレバ、防空ト申シ、防諜ト申シ、其ノ他總テ戰時國民ノ勝ツ爲ノ努力、勝ツ爲ノ忍苦ト云フモノハ本當ニ出來マセヌ、之ヲ唯強權ニ依ツテ防グト言ヒマシテモ、一億國民ガ二十四時間ノ間己ガジシ住居ニ於テ、己ガジシ職場ニ於テ働ク一ツツノ勤勞ノ熱意其ノモノガ私ハ強權ニ依

ツテハ出ヌト思ヒマス、一ツノ電燈モ要ラナイ時ハ早く消シテ電力ヲ節約シ、ソレガ戰力ノ増強ノ爲ニ必要ナ工場ニ廻ハス本ニナルト云フ自覺ヲ以テ消サナケレバ、如何ニ法令ヲ以テシマシテモ、ガス「一ツ、電燈一ツ本當ニ私ハ戰力増強ニ集中スルコトハ出來スト思ヒマス、併シナガラソレナラバ總テノ隅々マデノ自覺ヲ俟ツテ、是ガ何等ノ強權ナリ法律ニ依ラズシテ行ケルカト云ヘバ、急速ナル戰爭需要ニ應ズル爲ニハ、ソコニ強制法規ガ要ル場合モアリマス、色々アリマスガ、要ハ國民ノ本當ノ自覺デアルト思ヒマス、一昨年ノ間接稅ノ増稅ノ前ニ起リマシタ買溜ノ如キ現象ハ、聞キマシテモ遺憾ナコトデアリマシテ、今回ハ幸ニシマシテアノ當時ノヤウナ現象ハ起ツテ居ラヌヤウデアリマス、細カイ所ニハドウ云フコトガアリマスルカ存ジマセヌガ、大體ノ狀況ハ、増稅案發表以來注意ヲ致シテ居リマスルガ、一昨年ノ秋ノアノ當時カラ見マ

スモアリマセウカラ、稅法ノ御審議ガ早く済ミマシテ準備ガ出來マシテ施行期日ガ早カラシコトハ、是ハ切ニ希望ヲ致シテ居リマス

○中村(三)委員 根本對策ニ付キマシテハ

難カシイコトデアリマスガ、煙草ノ値上ガ大藏省告示一本デヤレル、アレハ自由主義時代ニハ、何故ニ議會ニ掛ケナイカト云フコトデ非常ニ攻撃サレタ、併シ今日、過ツタ功名カモ知レマセヌガ、兎モ角アレデ煙草ノ買溜、買漁リヲ防イデシマツタ、私ハア云フ方策モ必要ダト思イマス、局部的ニアルノデアリマス、私共ノ知ツテ居ル範圍ニ於テモ相當アル、併シ大藏大臣ハ總理大臣ト共ニ國民ノ忠誠ヲ信賴サレル——私ハ須ラク關係ハサウデナケレバナラヌト思フ、臺閣ニアル關係自ラ國民ノ忠誠ヲ疑フト云フコトハ、是ハ私ハナスベカラザル、又言フベカラザルコトデ、サウデナケレバイカスト思フ、併シナガラ吾等政治ノ方面ニ與ツテ居ル者ハ、サウ云フモノガアルト云フ事實ヲドウスルカト云フ考ヘ方ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ根本的ノ考ヘハ別トシテ、是ハ慎重ニ一ツ巧ク國民ノ忠誠ト共ニ、又其ノ方法ノ宜シキヲ加ヘラレテ、斯カルコトガ戰爭經濟ニ於テナイヤウニ努メラレンコトヲ希望致シ、又寧ろ切望スルノデアリマス、固ヨリ今次ノ時局ハ一昨年ノ時局ト違ヒマス、此ノ點私ハ非常ニ大藏大臣トシテオヤリ易イ時期ダト思フ、此ノ點ニ於キマシテハ私ハ一昨年ノヤウナコトガナイヤウニ思ヒマスガ、併シ局部的ニハ事實アル、私ハ思ムベキコトデアリマスカラ、斯ウ云フ公開ノ席デハ言ハナイ、其ノ點ハ善處セラレンコトヲ希望致シ

マス

最後ニ大藏大臣ノ財政演說中ニ注目スベキコトガアル、ソレハ徵稅スル者ト納稅スル者ト一體化ヲ圖ツテ行ク、是ハ私ハ大藏大臣ノ財政演說トシテ非常ニ注目シテ讀シテ、恐ラク今年ノ増稅ヲ合ハセマスナラバ四十億突破ノ増稅ガ日支事變以來行ハレテ居ル、國民ハ各、納稅報國ノ熱意ニ燃エテ居ルト云フコトハ洵ニ御同様喜バシイコトデアリマスガ、又大藏大臣ガ其ノ御演說ニ於テ申サレタヤウニ、徵稅者ト納稅者ト一體化ヲ圖ラントセラレルトコトハ、私共十分能ク分リマス、又吾々モ左様ニ努力ヲ致サナケレバナリマセヌガ、現前ノ事實ハ事實トシテアルコトヲ一ツコゴデ考ヘテ置カナケレバナラス、ソレハ最近私共ノ第六感デ感ズルノデアリマスガ、異議申立、再審査ガ多イノデハナイカと思フノデアリマス、是ハ後カラ主稅局長、統計ガアレバ十二年以來大體御示シヲ願ヒタイ、是ハ何處ニ原因ガアルノカト云フコトヲ靜カニ考ヘテ直シテ貰ヒタイ、一ツハ、例ヘバ茲ニ或ル時局ノ産業乃至ハ時局商賣ヲシテ居ル者ハ、十分調ベズシテ、アレハ儲カツテシマツテ居ルンダト云フヤウナ觀念デ認定シテ課ケテ居ル、斯ウ云フコトガ今言フ異議申立ダトカ、再審査ガ多イト云フ原因ニナツテ居ハセヌカ、私ハ稅務當局ガ非常ナ努力ヲシテ居ラレル、殊ニ何千口ト云フモノヲ以テ日夜努力シテ居ラレルコトニ對シテ、深ク喜ブ、又敬意ヲ表スルガ、ドウモ認定權ノ濫用ト云フコトガ相當アルノデハナイカと思フ、若シアリトスレバ、是ハ大藏大臣ガ徵稅者ト納稅者ト一體化ヲ圖ツテ行クト云フ上カラ言ツテ、相當

御考ヘニナラナケレバナリナイノデハナイカ、租稅政策ハ金錢ノ問題デヤナイ、國民思想ノ問題デアル、私ハ大藏大臣ノ言ハレル徵稅者、納稅者一體トナツテ、茲ニ一億一心ノ納稅報國ガ出來ルヤウニシナケレバナラス、併シ其ノ前ニハ、若シサウ云フ事實ガアツタナラバ、之ヲ直シテ掛ルト云フコトガ必要デハナイカ、此ノ意味ニ於テ御伺ヒスルノデアリマスカラ、先ヅ私ガ今申上デマシタサウ云フ傾向ガ數字的ニドウ現ハレテ居ルカ、大藏大臣ハ斯ウ云フコトニ對シテドウ云フ風ニシテ、國民ガ喜ンデ稅ヲ納メルト云フ此ノ方針ヲ確立セラレルカドウカト云フコトニ付テ、御答ヘヲ煩ハシタイノデゴザイマス

○賀屋國務大臣 納稅ニ付キマシテハ法律ニ規定ガアリマシテ、是ダケノ課稅物件ガアレバ如何ナル稅ヲ課スカト云フコトガ法律上ノ義務トナツテ居リマス、隨テ徵稅官吏ノ方デハ之ヲ取立テル、マア職務デアリマスルカラ、其ノ意識ガ強クナリマス、又納稅者ノ方デハ其ノ負擔ノ輕カラコトヲ冀フノモ人情デアリマスカラ、又多クノ納稅者等ニ於テハ稅法ニ不案内ナ人モ非常ニ外イト思ヒマスノデ、其ノ徵稅ニ對シマシテ相當不滿ノ起ル場合モアルト思ヒマス、又徵稅ノ任ニ當リマス者ガ認定ヲ誤リマス場合モアルト思ヒマス、偶ニハ遺憾ナガラ故意デ脫稅ヲ圖ラントスル者モアリマス、是等ノ關係デ、徵稅者ト納稅者ガ動モスレバ對立觀念ニナリ易ク、相當サウ云フコトモアルト思フノデアリマス、殊ニ現在ノ狀況ニ於キマシテハ、ソレガ假令議會ノ協賛ヲ經マシタ法規ノ命ズル所トハ云ヘ、非常ニ重イ稅デアリマス、之ヲ普通ノ世間話ニ

致シマシテモ、從來稅ト云フモノハ家計ノ中デ、或ハ家賃デアルトカ或ハ食費デアルトカ云フ經濟ノ支出ノ項目ノ中デ、左程重要ニ思ハヌデモ濟シモノガ、今ヤ一口デモ一番大キナ金額デアルト中流階級ノ人デモ言ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、隨ヒマシテ兎ニ角戰爭ノ爲メトハ云ヘ、御國ノ爲メトハ云ヘ、其ノ苦痛ハ大キイモノデアラウト思ヒマシテ、之ニ對シマシテ徵稅ノ上ニ於キマシテモ、既ニ其ノ納稅者ノ心持ヲ察シテ行クト云フコトガ、私ハ極メテ大切デアラウト思ヒマス、又徵稅者ニ致シマシテモ、是ハ數字デ申上デマスレバ、如何ニ納稅人員、課稅物件、増稅金額等ニ比シマシテ徵稅費ノ割合ガ少イカ、課稅ノ任ニ當リマスル人員、官吏ガ少イカト云フコトハ著シイモノデアリマシテ、餘程ソコニ普通ノ意味デハ手不足モアリマス、併シナガラ只今デハ全日本人ガ十分ニ覺悟ヲシマシテモ、此ノ戰爭ニ勝拔キ、大東亞ノ建設ヲ致シマス爲ニハ、人的資源ガ手不足デアルト云フ狀態デアリマス、此ノ觀點カラシマシテ、官吏ノ増員ノ如キハ極力抑制シ、進ンデ減員ヲスルト云フヤウナ事態デアリマシテモ、手不足ヲ感ジテ居リマスル徵稅方面ニ於キマシテモ、中々増員ノ如キハ思フニ委セズ、減員ヲ致シマシタ上ニ、今回ノ増稅ニ付キマシテハ極メテ其ノ事態ニ比シマシテ僅少ナ要員ヲ豫算案ニ計上シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソコデ對立觀念ヲ拂拭シテ——

是ハ平時デモ必要デアリマスルガ、特ニ今ハ行カナケレバナラス、殊ニ斯ウ云フ機會ニ所謂國民離間ト申シマスカ、所謂國內ヲ離間スル謀略ノ手ノ一ツモ伸ビヨウト云フ譯デアリマス、其ノ點ニ付テ切實ニ感ジテ居ル次第デアリマス、今回法案ヲ提出致シマシテ、納稅組合等ノ、或ハ納稅預金等ノ案ノ御審議ヲ御願ヒ致スコトニ相成ツテ居リマスガ、是等ハ物的方面カラ納稅ヲ容易ナラシメルト共ニ、サウ云フ機關ガ出來マスコトハ、ヤハリ徵稅ノ問題ニ關シマシテモ、稅務署ト納稅者側ガ能ク意思ガ疏通シ、話合ヒ、兩方ガ諒解シ、自覺シテ行ク上ニモ非常ナ助ケニナルト考ヘテ居リマス、又私共ガ内部ニ徵稅ノ任ニ當リマスル官吏ニ對シマシテモ、常ニ其ノ心持ヲ指導ヲ致スコトヲ從來ヨリ一層強化致シテ居リマス、又機會アレバ納稅者層ニ對シマシテモ私共ノ誠意ヲ披瀝シテ、意思ヲ汲取ツテ貰フ機會ヲ出來ルダケ作ツテ居リマスルガ、今後尙ホソレ等ノコトヲ一層増加シテ參リマス、本當ニ段々稅ハ將來マダダ重クナリマス、殊ニ只今モ四十億圓ニモ達スルカト云フ御話ガアリマシタガ、大東亞戰爭以來七回ノ増稅カト存ジマスルガ、金額ニ致シマスルト、殆ド昭和十六年ノ間接稅以來大部分ヲ占メルヤウナ急激ナ増加デアアルノデアリマス、中々納稅者モ困難デアリ、徵稅モ困難デアアル、ドウシテモ兩方トモ國家意識ニ目覺メマシテ、而モソレハ一緒ニ戰爭ヲスルンダト云フ氣分ニ目覺メル必要ガアルト思ヒマスルノデ、右ハ若干ノ例ヲ申上デマシタガ、其ノ意味デ今後非常ナル努力ヲ致シタイト存ジテ居リマス、尙ホ再審査等ノ要求ガ昨年アタリ大キイモノニ付キマシテハ、是ハ又特殊ノ原因ガゴザイマス、先程モ申上デマシタヤウニ、昨年ノ直接稅法ノ改正ニ依リマシテ納稅者層ガ非常ニ殖エマシタ、而モ殖エタ納稅者ハ所得金額ノ少イ方ニ課稅ノ最低限ヲサレマシタ爲ニ殖エタ方デアリマスルカラ、

是ハ納税者ニ於テモドチラカト言ヘバ税法ニ不案内ナ人ガ多イノデアリマス、税務官吏ニ致シマシテモ、是等ノ少額ノ所得ノ人々ニ對シマスル課税ノ捕捉ト云フモノハ困難デアリ、且ツ初メテノ層デアリマス、從來年徵稅致シマシタ實績等カラ斟酌スル材料モアリマセヌ、ソレハ課税ノ認定ニ於テ往々不十分ナモノガアツタト存ジマス又ソレ以外ニサウ云フ層及ビ其ノ他ノ層ニ付キシマシテ最近經濟上ノ狀況ガ變更致シマシテ、色々ノ小賣業デアルトカ、其ノ他ノモノニ付キマシテ如何ニ原料ヲ使フカ、如何ニ賣上ガアツタカト云フヤウナコトガ、所謂事業統制ノ上カラ帳面上ハツキリスルヤウナモノガ出テ參リマス、出テ參リマストドウ云フコトニナルカト言ヘバ、從來ノ認定カラ行ケバ、左程影響ハナカツタと思ツテ居ツタモノガ、數字ニシマスト案外ニ大キナモノニ上ルト云フヤウナ現象モ多々アツタノデアリマス、ソレニハ又帳簿ノ不完全モアリマセウ、稅ガ急激ニ非常ニ増加シタト云フ結果ニ對シテ、兎ニ角機械的ニ稅務官吏ガ考ヘレバ全ク其ノ事由アリ、帳面ノ上ノ數字カラ是ダケノ原料ヲ仕入レテ、サウスレバ是ダケハ先ヅ賣レル、又販賣價格モ統制サレテ居ルカラ、賣上ガハ是ダケデアアル、利益ハ是ダケデアルト機械的ニ出テ來ルモノモアリマス、併シ從來サウ云フモノガナカツタノニ、一足飛ニサウナツテ參リマスカラ、理窟ハ兎ニ角、納得シ難イ場合モ澤山アリマス、又今申上ゲマシタヤウニ徵稅者ノ認定モ誤ルト云フヤウナ場面モアリマス、是等ノヤウナ特殊ノ事由デ以テ相當最初ノ認定ニ付テハ誤ツタモノモアリマセウシ、又誤ラスモノデモ納稅者ガ、理

窟ハ兎ニ角、納得シ難イト云フモノガ多カツタラウト思ヒマス、機宜ノ處置トシマテシ特ニ異議アル方ハ再審査ヲ要求シテ下サイ、オ五ニ納得スルマデ調べ、又話合ハウ、再審査ノ期日モ事實上ハ相當手心デ延ビマシテ、特ニ相互ノ理解ヲ深メル爲ニヤリマシタヤウナ次第デアリマス、是等モ先程申上ゲマシタヤウナ適切ナル稅ヲ施行スル、納稅者ニモ出來ルダケ無理ガナイヤウニ、且ツ納得シテ貰フト云フ調和ノ觀念カラ致シタヤウナ譯デアリマス、尙ホ數字等ニ付キマシテハ主稅局長カラ申上ゲルコトニ致シマス

約八千万圓ニ及ンデ居リマス
○中村(三)委員 最後ニモウ一ツ申上ゲテ終リマス、今度ハ私ハ國民ノ中ニ増稅ノ機會毎ニ連脱ヲヤル者ガアル、是ハ吾々政治家トシテ、又相當當局ノ取締ヲ希望スル、特ニ遊興飲食稅ガサウデアアル、アレハ今複寫式ニセラレテ相當嚴密ニナリマシタガ、何カ私共ハ他ニ納稅切手帳ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、先ニ租稅ヲ取ルト云フヤウナ考ヘ方ヲナサル必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、要スルニ制度ト組織ヲビツタリヤツテ行カレマスナラバ、増稅毎ニ起ル所ノ脫稅行爲ト云フモノヲ取締レルト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテモ増稅毎ニ今後十分ニ戒心ヲセラレテ、折角増稅シタガ、ソレガ逃レテシマフト云フコトニナリマシテハ、國庫ノ收入ニ私ハ決シテ好イ影響ヲ與ヘナイシ、又人心ノ上ニモ好イ影響ヲ與ヘナイト思ヒマスカラ、斯ウ云ツタヤウナ故意ニ惡意ヲ以テ脫稅ヲスルヤウナ者ニ對シマシテハ、大藏當局ハ水モ漏ラサヌ對策ヲ以テ此ノ徵稅ノ全キヲ期セラレルコトガ必要デアルト思ヒマス、此ノ點モ私ノ意見ダケ申上ゲテ置キマシテ、大藏大臣ニ對スル御尋ネヲ終ツテ置キマス

ナケレバナラヌ點デアルト思ヒマス、然ルニ私共ノ見ル所デハ今日マデノ狀況デハ、稅務署ノ徵稅事務ニハ一大改革ヲ加ヘナケレバ先程御話ニナツタヤウニ、徵稅者モ納稅者モ一體トナツテ國家目的ニ副フヤウナ考ヘ方ニ國民ヲ導クコトガ非常ニ困難デハナイカト思ヒマス、今日ノ稅務署ノ實情ニ付キマシテ私ガ此處デ續、申上ゲルマデモナク、大藏當局ニ於キマシテハ十分御承知ノコトデアルト思ヒマスガ、其ノ徵稅事務ニ當ル人ノ數ノ點カラ申シマシテモ、待遇ノ點カラ申シマシテモ、素質ノ點カラ申シマシテモ、寧ロ他ノ行政事務ニ携ツテ居ル者ト比較シテ私ハ非常ニ劣ツテ居ルト思フノデアリマス、最モ國民ノ利害ニ直接關係スル此ノ稅務署、稅務官吏ノ實情ガ斯クノ如キ狀態ニ放置セラレデアルト云フコトハ、是ハ國民ノ精神、心理ノ上ニ及ボス所モ極メテ重大デアツテ、是ハ増稅ヲヤラルル前提トシテハ、此ノ點ニ思ヒ切ツタ改革ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、如何ニ行政簡素化ト申シマシテモ、簡素化ニハ自ラ其ノ方法ガアルノデアツテ、人ヲ減ラシ、或ハ其ノ儘ニシテ十分目的ヲ達スレバソレデ宜イノデアリマスカレドモ、今日マデノ徵稅事務ノ狀態ト云フモノハ、吾々カラ考ヘルト非常ニ遺憾ノ點ガ多イト思フノデアリマスカラ、如何ニ簡素化ノ時デアリマシテモ、増スベキ所ニハ大イニ増ス、待遇ヲ改善スベキ所ニハ大イニ待遇ヲ改善スル、此ノ措置ニ出デラルルコトガ私ハ當然デアルト思ヒマス、サウ云フ點カラ今回ノ増稅ニ當リマシテノ私共ノ希望ト致シマシテハ、思ヒ切ツタ刷新ノ方策ヲ御立デニナラナクテハナラヌノデヤナイカ、其ノ十分ナル方

第六類第一號 臨時利得稅法中改正法律案外十一件委員會議錄 第二回 昭和十八年二月二日

○松隈政府委員 審査請求ノ提出ノ狀況デアリマスガ、昭和十二年以來ノ數字ハ手許ニ持ツテ居リマセヌカラ、後程調べテ資料トシテ提出致シタイト思ツテ居リマス、昨年ノ審査請求ノ件數ト、其ノ前年ノ件數トヲ調べテ申上ゲマス、昨年ニ付キマシテハ、只今大臣カラ御話モアリマシタ通り、特殊ナ事情モアツテ相當増加致シテ居ルノデアリマスガ、分類所得稅、綜合所得稅、個人營業稅、個人臨時利得稅ヲ通ジマシテ、審査請求ノアリマシタ件數ハ五十六万五千餘件デアリマス、實際ノ人數ニ致シマスト、一人デ二件或ハ三件ニ該當シテ居ルヤウナ場合ガゴザイマスカラ、減ツテ居リマシテ、人數ト致シマシテハ三十六万四千餘人デアリマス、其ノ前年ノ審査請求件數ハ二十六万餘件、實際人員ハ十八万一千餘人デアリマスカラ、約件數ニ於キマシテモ實際人員ニ於テモ倍ニ殖エテ居リマス、之ヲ處分致シマシテ訂正ヲ致シマシタ件數ハ、件數デ五十五万一千餘件、實際人員デ三十五万八千餘人、訂正ノ結果減額サレマシタ金額ハ

○木村(正)委員 ソレデハ私ハ先程中村君ノ質問ニ對シマシテ、大藏大臣カラ徵稅事務ノ刷新等ニ關シテ一應御伺ヒ致シマシタケレドモ、今後増稅ガ年ト共ニ行ハレルヤウナ情勢下ニアリマシテハ、徵稅事務ノ刷新ト云フコトニハ最モ大藏當局ガ力ヲ致サ

テハナラヌノデヤナイカ、其ノ十分ナル方

策ナクシテ、増稅ガ行ハレト云フコトニナレバ、是ハ今日マデモ存在シテ居ルノデアリマスガ、徵稅、納稅ニ對シテ國民ノ考ヘテ私ハ餘程惡化セシムルコトニナリハシナイカ、隨テ此ノ點ニ付キマシテハ私共ハ大藏大臣カラ此ノ機會ニ於テ、徵稅事務ニ對シテドウ云フ改善刷新ノ對策ヲ御持チニナツテ居ルカト云フコトヲ十分ニ御伺ヒラシテ置キタイト思ヒマス、多少増シタヤウナ御話ガアリマシタケレドモ、多少ノ増員、唯人ヲ増スダケデハ私ハ改善刷新ニハナラスト思ヒマスガ、其ノ他各般ニ互ツテ如何ナル刷新ノ對策ヲ御持チニナツテ居ルカラ此ノ機會ニ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 今ノ御趣旨ノ一面ハ稅務署ノ人手ガ少イ、モツト優秀ナル者ガ欲シイ、給與モ惡イト云フヤウナコトガ其ノ原因デハナイカ、是等ヲ改善シタラドウカト云フ御趣旨デアルヤウニ拜察ヲ致シマシタ、洵ニ御尤モダト存ジマス、私共モサウ致シタイト存ジマス、併シ今申上ゲマシタヤウニ日本中手ガ足ラス所デアリマシテ、直接戰力増強ニ必要ナル軍需工場等ニ於キマシテモ非常ナ手不足ヲ感ジテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマスノデ、官吏全體ノ増員ニ付キマシテ特ニ差控ヘテ居ル次第デアリマス、唯徵稅事務ニ付キマシテハ、他ノ普通官廳ト違ヒマシテ、鐵道、通信等ノ現業ト同ジク人員ヲ減ラスニ致シマシテモ、最小限度ノ率ヲ以テマシテ、他ノ方面デハ殆ド人員ノ増加ヲ特別ニ致シマセヌ時ニ、若干デモ増加ヲ致シテ居ルヤウナコトデアリマス、此ノ點ハ稅務行政カラ見マスレバ甚ダ物足ラナイノデアリマスルガ、今申上ゲタヤウナ觀點カラ

此ノ程度ニ止マツテ居ルノデアリマス、又給與ニ付キマシテモ私務關係カラノミ致シマスレバ、増シタイノハ山々デゴザイマス、併シ是ハ全體ヲ見渡シマスルト、或ハ學校ノ教員ニ致シマシテモ、又警察官吏ニ致シマシテモ、其ノ他ノ職員ニ致シマシテモ、皆給與ガ不十分デアルト云フ聲モ相當痛切ナルモノガアルケデアリマス、今回ハ一律ニ戰時勤勉手当モ出シマシタヤウナ際デアリマス、ソレ以上特異ノ方法ハ原則トシテハ皆差控ヘテ居ルヤウナ趣意デアリマス、稅務行政トシテハ不十分ト考ヘマスルガ、全體ノ情勢カラ已ムヲ得ズ其ノ程度ニ止メテ居リマス、併シ今後モ其ノ點ニ付キマシテハ出來ルダケ十分ニ力ヲ盡シテ參リタイト存ジテ居リマス、一面此ノ稅務署ニ働イテ居リマスル官吏等ニ付キマシテハ、是ハ社會一般カラ御覽ニナレバ相當御不滿ナル點モアルカト思ヒマスルガ、併シ今仰セノヤウナ給與ノ狀態、アノ手不足ヲ繁劇ナ事務ヲ致シテ居リマスル其ノ心構ヘハ、是ハ稅務傳統ノ精神ニ依リマシテ、其ノ勤務時間ニ於キマシテモ、勤務ノ狀態ニ於キマシテモ、私共モ之ヲ見マスル時ニ涙ナクシテハ見ラレナイ程熱心ニ大多數ノ者ガヤツテ居ルノデアリマス、私ハ是ハ銃後モ前線モ御國ノ爲ニ盡スト云フ點カラ考ヘマシテ、實ハ内心喜ビ、又氣ノ毒ニ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ傳統ノ精神ハ益之ヲ發揮、發揚、涵養ヲシテ參リマスルヤウニ努メタイト存ジマス、尙ホ一々ノ稅務署ノ行政ニ付キマシテモ昨年ノ個人營業稅、所得稅等ニ付キマシテモ、所謂守株墨守ノ態度ヲ離レマシテ、實際ノ社會ノ實情ニ副フベク餘程指導ヲ致シテ居リマス、其ノ意味ニ於

キマスル新シキ稅務精神ノ涵養ニ努メテ參リタイト存ジマス、尙ホ只今モ素質ノ向上ノ爲ニハ豫メ講習所ヲ設置シマシテ、此處デ正規ノ講習ヲ受ケテ出シマシタ者ヲ稅務署ノ第一線ノ中樞ニ配置致シマスル者ヘデ最近實施ヲ致シテ居リマス、是等ニ付キマシテモ相當ノ志願者ガアリマシテ、募集人員モ超過スルヤウナ狀態デアリマシテ、大變喜ンデ居ル次第デアリマス、尙ホ其ノ外稅務署ノ數ノ不足、ソレ等ニ付テモ考究致シテ居リマスガ、一面經費ヲ全面的ニ出來ルダケ節約致シマスルヤウナ考ヘ方カラ、不十分デアリマスガ、稅務署ノ分離増設等ニ付キマシテモ出來ルダケハ實行シテ參リタイト存ジテ居リマス

○木村(正)委員 私ハ徵稅事務ノ刷新ニ關スル只今ノ大藏大臣ノ御説明ニハ實ハ満足ヲ致シマセヌ、今日マデノヤウナ狀態、又只今御話ニナリマシタ程度デハ依然トシテ徵稅事務ノ方面ニ一大缺陷ガアルノデハナイカト思ヒマス、大藏當局トシテハ他ノ關係等カラ經費、其ノ他ノ點ヲ考慮サレテ御遠慮ニナツテ居ルヤウナ點モアルト思ヒマス、併シナガラ今日只今御話ニナツタヤウニ、稅務官吏ノ涙グマシイ活動ニ對シマシテハ、私モ大藏大臣ト同ジヤウニ衷心カラ同情ヲ致スノデアリマスガ、今日ノヤウナ狀態ニ放置シテハ迷惑ラスルモノハ、是ハ納稅者、或ハ國民ノ側ニアル、今御話ニナツタヤウナ狀態デ國民ニ對スル徵稅ノ事務ニ誤謬ナリ、或ハ不當ナル點——サウ云フ點ガナイコトガ保證サレマスルナラバ、ソレハ洵ニ結構デアリマスケレドモ、今日ノ實情カラ申シマスルト、稅務官吏ノ數ガ足ラナイ、ソレガ素質ガ十分デナイ、ドウカ

スルトニ、三箇月前マデ學校ニ居ツタ者ガ重要ナ事務ヲ執ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態ニ在リマシテハ、此ノ納稅思想ニ對シテ國民ガ心カラ納得スルト云フコトニナラヌノデハナカラウカ、隨テ是ハドウシテモ思ヒ切ツテ一大刷新ヲサレナケレバナラスノデハナカラウカ、例ヘバ待遇ノ點等モ實際調査ヲ致シテ見マスルト、平均給ハ七十五圓ニナツテ居ルノニ、大概ノ所ハ六十二、三圓デアアル、直接稅等ヲ取扱ツテ居ル直接係ノ判任官ノ平均給ヲ調べルト、平均給ヨリモ十圓位下ノ所ガ大概ノ實際支給ヲ受ケテ居ル俸給額デアリマス、或ハソレニ相當スル人物ガ居ナイノガ原因カモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ狀態ニ於テハ素質ノ良イ者ヲ其處ニ引張ツテ來ルト云フコトハ困難デハナイカ、況ヤ數ガ少イ、サウシテ一人當リ數千件ヲ持ツテ居ル、所得ニシテモ純益ニ致シマシテモ、ソレヲ二三箇月ノ間ニ調査スルト云フコトハ、殆ド人力デハ不可能デアアル、是ハモウ誰ガヤツテモ私ハ出來ナイト思フ、サウ云フ事務ヲ執ラシテ置イテ、國民ニ納稅ノ公正ヲ期スルト云フコトハ非常ニ困難デハナイカト思ヒマス、隨テ今御話ニナリマシタ點ハ、私ハ十分認メマスケレドモ、今後増稅ヲ斷行シテ行ク上ニ付キマシテ、徵稅事務ノ刷新ト云フコトハ何ガ何デモナサラナクテハナラヌノデハナイカ、サウシテ誤リノナキヲ期サナケレバナラヌノデハナイカ、誤リノアル點ニハ審査ノ方法等ガアルカラ、ソレデ宜イデハナイカト御話ニナルカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ再審査ノ方法ト云フコトハ末ノ末デアリマス、國民ノ總テニソレヲ行カナイノデアツテ、是ハ殆

ド末ノ末ノ問題デアツテ、根本ハ徵稅事務ニ誤リナキヲ期スル、徵稅ガ公正妥當デア、誤リガナイト云フ方法ヲ執ラナケレバ、國民ヲ私ハ納得セシメルコトガ出來ナイト思ヒマス、其ノ意味ニ於キマシテ、今後思ヒ切ツタ一ツノ改善刷新ノ方策ヲ御執リニナル必要ガアルカト思ヒマス、只今御話ニナリマシタ點ハ十分了解シマシタケレドモ、其ノ程度ヲ以テシテハ今後ノ徵稅事務ノ一大改善ガ出來ルト私ハ納得スルコトガ出來ナイコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 御話ハ洵ニ御尤モノ點ガアリマスノデ、私共モ出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニシタイト思ヒマス、唯一ツノ御話ガアリマシタガ、平均給ハ七十五圓ダガ、六十五圓シカヤツテ居ナイ是ハ實ハ一パイヤリタイ、十圓餘シテ居ル譯デハ決シテアリマセヌノデ、ソレハ平均給ヨリモ高イ者モアリ、又賞與ノ一部財源ニモナリマスルノデ、一パイ、實ハ豫算ガ足ラヌト思フ程使ツテ居リマシテ、結局是ハ御話ノ如ク給與全體ガ少イト云フコトニナル、又將來適當ナ機會ガアリマシタラ成ベク早ク考ヘタイト思ヒマス

○松村委員長 本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、明日午前十時カラ開會致シタイト思ヒマス、尙ホ此ノ際御願ヒ致シテ置キマスガ、大藏當局ノ出席ノ色々打合セノ都合モアリマスカラ、明日以後御質疑ヲ御通告願ツテ居リマス古河サン、河野サン、駒井サン、田下サン、有馬サン、尙ホ木村サンモ明日以後ノ御質疑ヲ豫メ御用意下サランコトヲ此ノ際特ニ御願ヒ致シテ置キマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後五時二十分散會

〔參照〕

古河委員要求ノ參考資料

一、直接國稅滯納者調

但シ昭和十七年 自一月十箇月中ニ課稅決定セラレタルモノニ付テ

各財務局別ニ

1. 法人ト各事業年度ヲ歷年別ニシテ

員數竝ニ各稅種別ニ稅額

2. 個人ハ營業者ニシテ昭和十七年分

純益決定ノモノ、内其人員竝所得、

利得、營業稅每ニ稅額

3. 讓渡利得ノ昭和十七年中ニ決定ノ

モノ、内人員、竝ニ稅額

二、相續稅物納調

昭和十七年中ニ物納ノ許可セラレタル員

數竝ニ稅額

三、間接國稅犯則者調

但シ昭和十七年中ニ檢舉セラレタル件

數竝ニ稅額

1. 酒稅

2. 清涼飲料稅

3. 遊興稅

4. 飲食稅

5. 物品稅

四、砂糖ニ付テ(單位百斤)

1. 臺灣ニ於ケル昭和十七年ノ產糖高

2. 同上生產費竝ニ附帶費各別ニ

3. 内地ニ於ケル昭和十七年中ノ消費

4. 現在ノ各種糖每ニ關稅

河野(密)委員要求ノ參考資料

一、昭和十八年度各稅別收入見込額調

二、今次稅制改革ニ依ル各稅別增收見込額調

三、最近五箇年間ニ於ケル歲入總額中ニ

占ムル租稅收入ノ割合調

四、最近五箇年間ニ於ケル租稅ト公債ト

ノ比率調

五、最近五箇年間ニ於ケル直接稅、間接

稅(流通稅ヲ含ム)比率調

六、今次增稅ノ結果ニ於ケル直接稅、間

接稅ノ比率

七、最近五箇年間ニ於ケル國民所得ト租

稅トノ割合調

八、最近五箇年間ニ於ケル公債發行額ト

ソノ消化狀況調

九、酒造稅ニ於ケル一級、二級、三級、

四級ノ造石見込高及稅收見込額調

一〇、租稅臨時措置ノ改正ニ依ル減收見

込額調

田下委員要求ノ參考資料

一、分與稅決定ノ基礎要件

昭和十八年二月三日印刷

昭和十八年二月四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局